

基本計画書

基本計画書										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学割変更									
フリガナ	がっこうのしん せいのがくえん									
設置者	学校法人 西大和学園									
フリガナ	やびだい									
大学の名称	大和大学									
大学本部の位置	大阪府吹田市片山町2丁目5番1号									
大学の目的	大和大学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに基づき、高い専門性と幅広い視野を授けるとともに、豊かな人間性を涵養し、一人ひとりの「ひと」を見つめ、学術文化の向上と社会の平和と発展に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。									
新設学部等の目的	大和大学の設置母体である学校法人西大和学園では、学校法人創設以来、「国づくりは人づくりから」を柱に、国際理解教育に精力的に取り組んできた。この度、グローバルビジネス学科を開設する政治経済学部は、本学が有する学部において、特に、学園の設立の精神、大学建学の精神を色濃く反映した学部であり、これまで学科名変更、定員変更を重ねつつ、教育研究レベル向上、志願者増を実現し、理想のあり方を構築し続けてきた。国際社会は、混沌と混乱の只中にあり、わが国は、先の見えない世界情勢下、未曾有の少子高齢化と向き合い未来を構築し続けており、揺れ動く世界情勢を正しく捉え、国際社会を舞台に活躍できるコミュニケーション能力、知識能力を備えた真のグローバル人材の養成が急務の課題となっている。本学では、こうした社会の要請に応えるべく、政治経済学部経済経営学科の国際経済コースの学びの系統化、深化を図り、グローバルビジネス学科を開設することとした。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
	教育学部 (Faculty of Education)					学士(教育学) (Bachelor of Education)	教育学・保育学関係	平成26年4月 第1年次	大阪府吹田市片山町2丁目5番1号	
	教育学科 (Department of Education)	4	190	3年次 5	770					
	保健医療学部 (Faculty of Allied Health Sciences)					学士(看護学) (Bachelor of Nursing)	保健衛生学関係(看護学関係)	平成26年4月 第1年次	同上	
	看護学科 (Department of Nursing)	4	100	-	400					
	総合リハビリテーション学科 (Department of Rehabilitation Sciences)	4	120	4年次 10 (言語聴覚学専攻を除く)	490	学士(保健医療学) (Bachelor of Allied Health Sciences)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	平成26年4月 第1年次	同上	
	政治経済学部 (Faculty of Political Science and Economics)					学士(政治・政策学) (Bachelor of Political and Policy Science)	法学関係	平成28年4月 第1年次	同上	
	政治・政策学科 (Department of Political and Policy Science)	4	60	-	240					
	経済経営学科 (Department of Economics and Business Management)	4	120	-	480	学士(経済経営学) (Bachelor of Economics and Business Management)	経済学関係	平成28年4月 第1年次	同上	
	グローバルビジネス学科 (Department of Global Business)	4	80 (0)	-	320 (0)	学士(グローバルビジネス) (Bachelor of Global Business)	経済学関係	令和6年4月 第1年次	同上	※令和5年4月設置届出予定
	理工学部 (Faculty of Science and Engineering)					学士(理学)、 学士(工学) (Bachelor of Science), (Bachelor of Engineering)	理学関係、工学関係	令和2年4月 第1年次	同上	
	理工学科 (Department of Science and Engineering)	4	230	-	920					
社会学部 (Faculty of Sociology)					学士(社会学) (Bachelor of Sociology)	社会学・社会福祉学関係	令和3年4月 第1年次	同上		
社会学科 (Department of Sociology)	4	200	-	800						
情報学部 (Faculty of Informatics)					学士(情報学) (Bachelor of Informatics)	工学関係、経済学関係	令和5年4月 第1年次	同上		
情報学科 (Department of Informatics)	4	200	-	800						
計		1,300 (1,220)	3年次 5 4年次 10	5,220 (4,900)						
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	該当なし									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計	講義	演習	実験・実習	計	
	-	一科目	一科目	一科目	一科目	一科目	一科目	一科目	一単位	

学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
	教授	准教授	講師	助教	計			
新 教育学部 教育学科		15 (15)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	28 (28)	0 (0)	7 (7)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	15 (15)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	28 (28)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計(a~b)	15 (15)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	28 (28)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a, b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計(a~d)	15 (15)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	28 (28)		
	保健医療学部 看護学科	6 (6)	1 (1)	6 (6)	3 (3)	16 (16)	0 (0)	2 (2)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	1 (1)	6 (6)	3 (3)	16 (16)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計(a~b)	6 (6)	1 (1)	6 (6)	3 (3)	16 (16)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a, b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計(a~d)	6 (6)	1 (1)	6 (6)	3 (3)	16 (16)			
設 総合リハビリテーション学科		8 (8)	4 (4)	4 (4)	1 (1)	17 (17)	0 (0)	7 (7)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	4 (4)	4 (4)	1 (1)	17 (17)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	小計(a~b)	8 (8)	4 (4)	4 (4)	1 (1)	17 (17)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a, b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計(a~d)	8 (8)	4 (4)	4 (4)	1 (1)	17 (17)		
	政治経済学部 政治・政策学科	9 (9)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	24 (24)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	6 (6)		
小計(a~b)	8 (8)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	12 (12)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a, b又はcに該当する者を除く)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (3)			
計(a~d)	9 (9)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	15 (15)			
分 経済経営学科		9 (9)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	28 (28)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	6 (6)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	6 (6)		
	小計(a~b)	6 (6)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	12 (12)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a, b又はcに該当する者を除く)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (4)		
	計(a~d)	9 (9)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	16 (16)		

大学設置基準別表第一-Iに定める基幹教員数の四分の三の数 28人、

大学設置基準別表第一-Iに定める基幹教員数の四分の三の数 17人、

大学設置基準別表第一-Iに定める基幹教員数の四分の三の数 9人、

大学設置基準別表第一-Iに定める基幹教員数の四分の三の数 8人、

新	グローバルビジネス学科	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	17 (17)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	7 (7)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)		
	小計(a~b)	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計(a~d)	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)		
	理工学部 理工学科	24 (24)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	33 (33)	0 (0)	24 (24)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	24 (24)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	33 (33)		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計(a~b)	24 (24)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	33 (33)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計(a~d)	24 (24)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	33 (33)			
社会学部 社会学科	14 (14)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	26 (26)	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	13 (13)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	6 (6)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	9 (9)			
小計(a~b)	14 (14)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	22 (22)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計(a~d)	14 (14)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	22 (22)			
情報学部 情報学科	14 (13)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	18 (17)	0 (0)	4 (4)	
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	14 (13)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	18 (17)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計(a~b)	14 (13)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	18 (17)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計(a~d)	14 (13)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	18 (17)			
計	103 (102)	46 (46)	20 (20)	4 (4)	173 (172)	0 (0)	122 (122)	
既	該当なし	-	-	-	-	-	-	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
	小計(a~b)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
	計(a~d)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
	計	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
	合計	103 (102)	46 (46)	20 (20)	4 (4)	173 (172)	0 (0)	122 (122)

大学設置基準別表第一-Iに定める基幹教員数の四分の三の数：6人

大学設置基準別表第一-Iに定める基幹教員数の四分の三の数：14人

大学設置基準別表第一-Iに定める基幹教員数の四分の三の数：11人

大学設置基準別表第一-Iに定める基幹教員数の四分の三の数：12人

職 種		専 属		そ の 他		計			
事 務 職 員	16人 (16)			19人 (19)		35人 (35)			
技 術 職 員	5 (5)			0 (0)		5 (5)			
図 書 館 職 員	1 (1)			4 (4)		5 (5)			
そ の 他 の 職 員	0 (0)			0 (0)		0 (0)			
指 導 補 助 者	0 (0)			0 (0)		0 (0)			
計	22 (22)			23 (23)		45 (45)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地	52,080.33㎡	11,858.00㎡	63,005.43㎡		126,943.76㎡			
	そ の 他	4,246.88㎡	0㎡	6,436.15㎡		10,683.03㎡			
	合 計	56,327.21㎡	11,858.00㎡	69,441.58㎡		137,626.79㎡			
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計			
		41,029.30㎡ (41,029.30㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)		41,029.30㎡ (41,029.30㎡)			
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	169室	教 員 研 究 室	174室				
大学全体									
図 書 ・ 設 備	新設学科の名称	図書 〔うち外国書〕	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点		
	大学全体	42,619 [2,476] (40,408 [2,476])	0 [0] (0 [0])	131 [14] (131 [14])	27 [21] (27 [21])	16,968 (16,634)	106 (106)		
	計	42,619 [2,476] (40,408 [2,476])	0 [0] (0 [0])	131 [14] (131 [14])	27 [21] (27 [21])	16,968 (16,634)	106 (106)		
	大学全体								
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設			
		6,934.48㎡		0㎡		402.50㎡			
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	教員1人当たり研究費等		300千円	300千円	300千円	300千円	300千円	300千円	
	共同研究費等		3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	
	図書購入費	1,033千円	1,033千円	1,033千円	1,033千円	1,033千円	1,033千円	1,033千円	
	設備購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
	学生1人当たり 納付金	学部	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		教育学部	1,340千円	1,220千円	1,220千円	1,220千円	1,220千円	1,220千円	
		保健医療学部	1,750千円	1,750千円	1,750千円	1,750千円	1,750千円	1,750千円	
		保健医療学部 （言語聴覚専攻を除く）	1,270千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	
		保健医療学部 （言語聴覚専攻を除く）	1,170千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	
理工学部		1,630千円	1,560千円	1,560千円	1,560千円	1,560千円	1,560千円		
社会学部		1,170千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円		
情報学部	1,350千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							
大学等の名称 大和大学									
既 設 大 学 等 の 状 況	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	取容定員	学位又は称号	取容定員充足率	開設年度	所在地
	教育学部 教育学科	4年	190人	3年次5 (初等幼児教育専攻のみ)	770人	学士(教育学)	1.10	平成26年度	大阪府吹田市片山町 2丁目5番1号
	保健医療学部 看護学科	4年	100人	-	400人	学士(看護学)	1.11	平成26年度	同上
	総合リハビリテーション学科	4年	120人	4年次10 (言語聴覚専攻を除く)	490人	学士(保健医療学)	1.05	平成26年4月 第1年次 令和5年4月 第4年次 (言語聴覚専攻を除く)	同上
	政治経済学部 政治・政策学科	4年	60人	-	180人	学士(政治・政策学)	1.10	平成28年度	同上
	経済経営学部 経済経営学科	4年	120人	-	360人	学士(経済経営学)	1.09	平成28年度	同上
	理工学部 理工学科	4年	230人	-	920人	学士(理学)、 学士(工学)	1.06	令和2年度	同上
	社会学部 社会学科	4年	200人	-	600人	学士(社会学)	1.12	令和3年度	同上
	情報学部 情報学科	4年	200人	-	200人	学士(情報学)	-	令和5年度	同上
	大学等の名称 大和大学白鳳短期大学部								
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	取容定員	学位又は称号	取容定員充足率	開設年度	所在地
	総合人間学科(2年課程) こども教育専攻	2年	100人	-	200人	短期大学士(こども保育学)	1.07	平成14年度	奈良県北葛城郡王寺町葛下 1丁目7番17号
総合人間学科(3年課程) 看護学専攻	3年	100人	-	300人	短期大学士(看護学)	1.09	平成17年度	同上	
リハビリテーション学専攻 理学療法課程	3年	40人	-	120人	短期大学士(リハビリテーション学)	1.00	平成19年度	同上	
リハビリテーション学専攻 作業療法課程	3年	30人	-	90人	短期大学士(リハビリテーション学)	1.03	平成28年度	同上	
附属施設の概要		該当なし							
大学等名称変更									

学校法人 西大和学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和5年度

令和6年度

	入学定員	編入学定員	収容定員	
大和大学				
教育学部				
教育学科	190	3年次 5	770	
保健医療学部				
看護学科	100	-	400	
総合リハビリテーション学科	120	4年次 10	490	
政治経済学部				
政治・政策学科	60	-	240	
経済経営学科	120	-	480	
理工学部				
理工学科	230	-	920	
社会学部				
社会学科	200	-	800	
情報学部				
情報学科	200	-	800	
計	1220	3年次 5 4年次 10	4900	
大和大学白鳳短期大学部				
総合人間学科				
こども教育専攻	100	-	200	
看護学専攻(3年制)	100	-	300	
リハビリテーション学専攻(3年制)				
理学療法学課程	40	-	120	
作業療法学課程	30	-	90	
計	270	-	710	

	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
大和大学				
教育学部				
教育学科	190	3年次 5	770	
保健医療学部				
看護学科	100	-	400	
総合リハビリテーション学科	120	4年次 10	490	
政治経済学部				
政治・政策学科	60	-	240	
経済経営学科	120	-	480	
<u>グローバルビジネス学科</u>	<u>80</u>	-	<u>320</u>	学科の設置(届出)
理工学部				
理工学科	230	-	920	
社会学部				
社会学科	200	-	800	
情報学部				
情報学科	200	-	800	
計	1300	3年次 5 4年次 10	5220	
大和大学白鳳短期大学部				
総合人間学科				
こども教育専攻	100	-	200	
看護学専攻(3年制)	100	-	300	
リハビリテーション学専攻(3年制)				
理学療法学課程	40	-	120	
作業療法学課程	30	-	90	
計	270	-	710	

1. 都道府県内における位置関係図 (大学キャンパス／大阪府吹田市)



1. 都道府県内における位置関係図 (課外活動運動場／奈良県北葛城郡河合町)



2. 最寄り駅からの距離・交通機関図 (大学キャンパス／大阪府吹田市)

○ 大阪駅から約15分でキャンパス

【最寄駅】 JR東海道本線「吹田駅」から約300m (徒歩約5分)
阪急千里線 「吹田駅」から約500m (徒歩約10分)



2. 最寄り駅からの距離・交通機関図（課外活動運動場／奈良県北葛城郡河合町）

○ 大学キャンパスから、約38km（約40分）

【最寄駅】 JR「王寺駅」・近鉄「王寺駅」「新王寺駅」から約1.5km（バス3分）



3. 校舎・運動場等配置図 (課外活動運動場／奈良県北葛城郡河合町)



課外活動運動場：(11,858.00 m²)
<大学・短大・中高共用>

大和大学学則（抜粋）

第1章 総則

（目的）

第1条 大和大学(以下「本学」という。)は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに基づき、高い専門性と幅広い視野を授けるとともに、豊かな人間性を涵養し、一人ひとりの「ひと」を見つめ、学術文化の向上と社会の平和と発展に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。

（自己評価等）

第2条 本学の目的を達するために、教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 点検及び評価については、別に定める。

3 本学は、第1項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

（情報の公開）

第3条 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を公開するものとする。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第4条 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を行う。

（社会的・職業的自立に関する指導等）

第5条 本学は、学部等の教育上の目的に応じ、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする。

第2章 学部、学科等及び修業年限

（学部）

第6条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。

・教育学部

教育学科のもとに、初等幼児教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、英語教育専攻の4つの専攻を置き、初等幼児教育専攻は初等幼児教育を柱に、国語教育、数学教育、英語教育の各専攻は、それぞれの教科教育を柱に関連する領域に関する専門的知識を身につけることによって、教育保育分野に貢献する人材を育成する。

・保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人材を育成する。

・政治経済学部

政治経済学部のもとに、政治・政策学科、経済経営学科、グローバルビジネス学科を置き、政治・政策学科のもとに政治学専攻、政策学専攻、経済経営学科のもとに経済学専攻、経営学専攻を設け、政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材を育成する（2年次専攻選択制）。

・理工学部

理工学科のもとに数理科学専攻、情報科学専攻、機械工学専攻、電気電子工学専攻、建築学専攻を設け、幅広い視野、専門的知識、また、強い探究心、使命感を有し、持続可能な社会の実現に向けて、創造性、独創性、発想力を発揮してイノベーションを創出することができる科学技術者、研究者を育成する。

・社会学部

社会学科のもとに現代社会学コース、メディア社会学コース、社会心理学コースを設け、社会学に関する理論、知識を活かし、社会が抱える課題の解決に意欲的に取り組み、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献する人材を養成する（2年次コース選択制）。

・情報学部

情報学を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材を養成する。

（修業年限）

第7条 本学学部の修業年限は4年とする。

（入学定員）

第8条 本学の学部、学科及び課程別の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

	学科	専攻・コース	入学定員	収容定員
教育学部	教育学科	初等幼児教育専攻	190名 (3年次編入 初等幼児教育 専攻5名)	770名
		国語教育専攻		
		数学教育専攻		
		英語教育専攻		
保健医療学部	看護学科		100名	400名
	総合リハビリテーション学科	理学療法学専攻	40名 (4年次編入5名)	165名
		作業療法学専攻	40名 (4年次編入5名)	165名
		言語聴覚学専攻	40名	160名
政治経済学部	政治・政策学科	政治学専攻	60名	240名
		政策学専攻		
	経済経営学科	経済学専攻	120名	480名
		経営学専攻		

	グローバルビジネス 学科	—	80名	320名
理工学部	理工学科	数理科学専攻	230名	920名
		情報科学専攻		
		機械工学専攻		
		電気電子工学専攻		
		建築学専攻		
社会学部	社会学科	現代社会学コース	200名	800名
		メディア社会学コース		
		社会心理学コース		
情報学部	情報学科	—	200名	800名

第3章 職員組織

(職員)

第9条 本学に、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及びその他の職員を置く。

2 本学に、非常勤講師、客員教授、その他必要な職員を置くことができる。

(学長及びその他役職)

第10条 本学に、学長を置く。学長は大学を代表するとともに、大学を統括する。

2 本学に、副学長を置くことができる。副学長は学長を助け、学長の命を受けて校務をつかさどる。

3 本学に、学部長を置く。学部長は、当該学部の学務、所属職員を統括する。

4 本学に、学部長補佐を置くことができる。学部長補佐は、学部長を助け、学部長の命を受けて学部の校務をつかさどる。

5 本学に、その他必要な役職を置くことができる。

第4章 大学協議会及び教授会

(大学協議会)

第11条 本学の管理運営に関する重要事項を審議し、理事会との連絡調整を図るため、大学協議会を置く。

2 大学協議会は、学長、学部長、学部長補佐、室長、部長及び学長が必要と認めた専任職員等によって構成する。

3 大学協議会は、学長が招集し、その議長となる。学長が議長をつとめることができない場合は、学長が指名した者がこれに代わるものとする。

4 大学協議会は、次の事項について審議し、学長が最終決定する。

- 一 大学運営、将来計画に関する事項
- 二 学則、諸規程等の制定改廃に関する事項
- 三 学部等編成、学生定員に関する事項
- 四 人事に関する事項
- 五 学生募集、入学試験に関する事項
- 六 教育課程に関する事項
- 七 学生の入学、卒業、課程の修了及び在籍に関する事項
- 八 学位授与に関する事項

新旧対照表

旧学則

(学部)

第6条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。

・教育学部

教育学科のもとに、初等幼児教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、英語教育専攻の4つの専攻を置き、初等幼児教育専攻は初等幼児教育を柱に、国語教育、数学教育、英語教育の各専攻は、それぞれの教科教育を柱に関連する領域に関する専門的知識を身につけることによって、教育保育分野に貢献する人材を育成する。

・保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人材を育成する。

・政治経済学部

政治経済学部のもとに、政治・政策学科、経済経営学科を置き、政治・政策学科のもとに政治学専攻、政策学専攻、経済経営学科のもとに経済学専攻、経営学専攻を設け、政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材を育成する(2年次専攻選択制)。

新学則

(学部)

第6条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。

・教育学部

教育学科のもとに、初等幼児教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、英語教育専攻の4つの専攻を置き、初等幼児教育専攻は初等幼児教育を柱に、国語教育、数学教育、英語教育の各専攻は、それぞれの教科教育を柱に関連する領域に関する専門的知識を身につけることによって、教育保育分野に貢献する人材を育成する。

・保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人材を育成する。

・政治経済学部

政治経済学部のもとに、政治・政策学科、経済経営学科、グローバルビジネス学科を置き、政治・政策学科のもとに政治学専攻、政策学専攻、経済経営学科のもとに経済学専攻、経営学専攻を設け、政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材を育成する(2年次専攻選択制)。

・理工学部

理工学科のもとに数理科学専攻、情報科学専攻、機械工学専攻、電気電子工学専攻、建築学専攻を設け、幅広い視野、専門的知識、また、強い探究心、使命感を有し、持続可能な社会の実現に向けて、創造性、独創性、発想力を発揮してイノベーションを創出することができる科学技術者、研究者を育成する。

・社会学部

社会学に関する理論、知識を活かし、社会が抱える課題の解決に意欲的に取り組み、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献する人材を養成する（2年次コース選択制）。

・情報学部

情報学を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材を養成する。

(入学定員)

第7条 本学の学部、学科及び課程別の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

・理工学部

理工学科のもとに数理科学専攻、情報科学専攻、機械工学専攻、電気電子工学専攻、建築学専攻を設け、幅広い視野、専門的知識、また、強い探究心、使命感を有し、持続可能な社会の実現に向けて、創造性、独創性、発想力を発揮してイノベーションを創出することができる科学技術者、研究者を育成する。

・社会学部

社会学に関する理論、知識を活かし、社会が抱える課題の解決に意欲的に取り組み、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献する人材を養成する（2年次コース選択制）。

・情報学部

情報学を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材を養成する。

(入学定員)

第7条 本学の学部、学科及び課程別の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

	学科	専攻・コース	入学定員	収容定員
教育学部	教育学科	初等幼児教育専攻	190名 (3年次編入)	770名
		国語教育専攻	初等幼児教育専攻 5名)	
		数学教育専攻		
		英語教育専攻		
保健医療学部	看護学科		100名	400名
	総合リハビリテーション学科	理学療法学専攻	40名 (4年次編入5名)	<u>165</u> 名
		作業療法学専攻	40名 (4年次編入5名)	<u>165</u> 名
		言語聴覚学専攻	40名	160名
政治経済学部	政治・政策学科	政治学専攻	60名	240名
		政策学専攻		
	経済経営学科	経済学専攻	120名	480名
		経営学専攻		

	学科	専攻・コース	入学定員	収容定員
教育学部	教育学科	初等幼児教育専攻	190名 (3年次編入)	770名
		国語教育専攻	初等幼児教育専攻 5名)	
		数学教育専攻		
		英語教育専攻		
保健医療学部	看護学科		100名	400名
	総合リハビリテーション学科	理学療法学専攻	40名 (4年次編入5名)	<u>165</u> 名
		作業療法学専攻	40名 (4年次編入5名)	<u>165</u> 名
		言語聴覚学専攻	40名	160名
政治経済学部	政治・政策学科	政治学専攻	60名	240名
		政策学専攻		
	経済経営学科	経済学専攻	120名	480名
		経営学専攻		
	グローバルビジネス学科	二	<u>80</u>	<u>320</u> 名

理 工 学 部	理 工 学 科	数 理 科 学 専 攻	230 名	920 名
		情 報 科 学 専 攻		
		機 械 工 学 専 攻		
		電 気 電 子 工 学 専 攻		
		建 築 学 専 攻		
社 会 学 部	社 会 学 科	現 代 社 会 学 コ ー ス	200 名	800 名
		メ デ ィ ア 社 会 学 コ ー ス		
		社 会 心 理 学 コ ー ス		
情 報 学 部	情 報 学 科	—	200 名	800 名

理 工 学 部	理 工 学 科	数 理 科 学 専 攻	230 名	920 名
		情 報 科 学 専 攻		
		機 械 工 学 専 攻		
		電 気 電 子 工 学 専 攻		
		建 築 学 専 攻		
社 会 学 部	社 会 学 科	現 代 社 会 学 コ ー ス	200 名	800 名
		メ デ ィ ア 社 会 学 コ ー ス		
		社 会 心 理 学 コ ー ス		
情 報 学 部	情 報 学 科	—	200 名	800 名

目 次

- 1 学則変更（収容定員変更）の内容 . . . p.2
- 2 学則変更（収容定員変更）の必要性 . . . p.2
- 3 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 . . . p.4

学則変更の趣旨を記載した書類

1 学則変更（収容定員変更）の内容

令和6（2024）年4月1日より、大和大学学則第8条「入学定員」の条文を以下の通り改定する。

（旧） 政治経済学部

政治・政策学科	入学定員 60名	収容定員 240名
経済経営学科	入学定員 120名	収容定員 480名

（新） 政治経済学部

政治・政策学科	入学定員 60名	収容定員 240名
経済経営学科	入学定員 120名	収容定員 480名
<u>グローバルビジネス学科</u>	<u>入学定員 80名</u>	<u>収容定員 320名</u>

2 学則変更（収容定員変更）の必要性

（1）大和大学の沿革

大和大学は、平成26（2014）年4月、設置母体の学校法人西大和学園設立の精神である「国づくりは人づくりから」を柱に、「高い専門性と幅広い視野を授けるとともに、豊かな人間性を涵養し、一人ひとりの「ひと」を見つめ、学術文化の向上と社会の発展に貢献する有能な人材を育成する」を建学の精神に掲げ、教育学部、保健医療学部の2学部からなる大学として開学した。

その後、平成28（2016）年4月に、「政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材を育成する」を教育目標とする政治経済学部を、令和2（2020）年4月に、『理工の基礎力、各専門分野の知識、技術とともに、「理学」「工学」領域を俯瞰的に見つめる幅広い視野を身につけることにより、創造性と発想力を発揮して持続可能な社会実現に貢献する技術者、研究者を養成すること』を教育目標とする理工学部を、そして、令和3年4月には、「社会学に関する理論、知識を活かし、社会が抱える課題の解決に意欲的に取り組み、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献する人材を養成すること」を教育

目標とする社会学部を開設してきた。令和5(2023)年4月には、『「情報学」を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材を養成すること』を教育目標とする情報学部を開設を予定しており、理系・文系計6学部8学科を擁する収容定員4,900人の総合大学となる。

(2) グローバルビジネス学科設置の必要性

現代社会は、世界的規模で、先の見えない混乱に直面しており、グローバルな視野、知識能力をもった人材の要請が急務の課題となっている。こうした社会情勢を受け、文部科学省では、「世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するための新たな取組や、人事・教務システムの改革など体質改善を進め、徹底した国際化に取り組む大学を重点的に支援するとともに、国内外への戦略的な情報発信を展開すること」を目的とした「スーパーグローバル大学創成支援事業」や、「大学教育のグローバル展開力の強化を図るため、我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った学生交流の実施等を推進する国際教育連携やネットワーク形成を支援すること」を目的とした「大学の世界展開力強化事業」等の大学教育のグローバル展開力の強化策を打ち出している。また、内閣府では、令和4年版、子供・若者白書において、創造的な未来を切り拓く子供・若者の応援として、「グローバル社会で活躍する人材の育成」を、経済産業省経済産業政策局産業人材政策室は、「変革の時代における人材競争力強化のための9つの提言～日本企業の経営競争力強化に向けて～」の中で、「日本企業を取り巻く課題」として『グローバル競争の激化、デジタル化の進展によって、日本企業は急速かつ激しい変化にさらされている。さらに、日本では少子高齢化が急速にすすみ、人手不足が一層深刻化していく。既に「ゲームのルール」は変わっており、これまでの「勝ち組」は通用しない。変革への対応力が求められる』、「幅広い業種がグローバル化に直面、人材に関する課題は大きい」と提言している。

大和大学の設置母体、学校法人西大和学園では、学校法人創設以来、「国づくりは人づくりから」を柱に、国際理解教育に精力的に取り組んできており、系列教育施設の西大和学園中学校・高等学校では、「世界を舞台に活躍するリーダーになる」を教育目標に、全生徒対象のアメリカグローバル研修プログラム(中学3年生)、海外探究プログラム(高校1年生)や、アメリカの大学の学生との交流を展開する次世代リーダー養成プログラムを希望者対象で展開してきた。また、幼稚園、小学校、中学校を要するアメリカ西海岸唯一の文部科学省認定の在外教育施設、西大和学園カリフォルニア校では、グローバル教育の最先端をめざし、「日本の伝統の教育」と「先進のバイリンガル教育」を融合したイマージョン方式の授業をとり入れ、真の国際人の育成に取り組んできた。

これら系列校における国際理解教育推進、グローバル人材養成の精神は、大和大学にも引き継がれ、世界各国の大学との留学提携推進、留学支援奨学金制度の創設、希望者対象の海外研修実施等、国際理解教育に精力的に取り組むとともに、この度、グローバルビジネス学科を設置する政治経済学部では、平成 28(2016)年の学部学科設置以来、経済経営学科に国際経済コースを開設し、「社会の高度情報化、グローバル化に対応し、新たなビジネスを創造する実行力に富んだ人材」の養成に取り組んできた。

前述の通り、現代社会は、激しい変化に対応できるグローバル人材を求めており、この度、既設の経済経営学科の国際経済コースを廃し、さらに学びを系統化、深化させ、「社会の国際化に対応し、経営学に関する学識とともに、国際的な視野、実践的な知識、能力を有する世界を舞台に活躍するグローバルビジネス人材を養成すること」を教育目標に、「グローバルビジネスの現場において必須の英語力を磨き上げる学び」「現代ビジネス必須の情報 ICT に関する知識、能力を身につける学び」「グローバル人材に求められるビジネスに関する知識、能力を身につける学び」「国際社会が求める発信力をもったビジネス人材を育てる学び」を柱とするカリキュラムを展開するグローバルビジネス学科を設置することは、社会的要請といえる。

3 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(1) 教育課程の変更内容

本学科では、グローバルビジネスに関する専門的な学びを展開する基礎となる視野、教養、コミュニケーション能力や、心身の健康の増進、アカデミックスキル、キャリア意識の養成を図ることを目的とする「共通基礎科目」を設定する。

「専門教育科目」の「専門科目」に、学部共通の学びを展開する「学部共通科目」、グローバルビジネスの専門分野の学びの基盤となる知識、能力を身につけることを目的とする「ビジネス基盤科目」、ビジネスに必要な情報に関する知識、能力を身につけることを目的とする「ビジネス情報科目」、国際ビジネスに関する知識、能力を身につけることを目的とする「国際ビジネス科目」、ビジネスの実践の場で求められる知識、能力を養成することを目的とする「ビジネススキル科目」を設定する。

また、「専門教育科目」に、キャリアに対する意識や実践的な知識、ボランティア精神や、国際感覚を養成することを目的とする「実践演習科目」、実践現場における課題を収集、テーマを掲げ考察し、自らの考えを発信する能力を養成することを目的とする「プロジェクトゼミ」、各学生が研究テーマを掲げ、研究を深める取り組みを通して、課題解決能力や将来進路に対する意識を身につけることを目的とする「卒業研究」を設定する。

本教育課程のうち、他学部の教員が担当する授業科目は、「共通基礎科目」の学科単

独科目、学部共通科目として開設する授業科目のみであり、「専門教育科目」に配する7科目は、政治経済学部他学科に在籍する教員が主に学部共通科目として担当するため、本学科の教育課程が他学部等の教育体制に与える影響はきわめて限定的であり、問題ないとする。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

本学科教育課程の「共通基礎科目」区分は、「教養科目」「外国語科目」「保健体育科目」「キャリア・ガイダンス科目」によって構成され、「グローバルビジネス」に関する専門的な学びを展開する基礎となる視野、教養、コミュニケーション能力や、アカデミックスキル、心身の健康の維持・増進、キャリア意識の養成を図ることを目的とする科目を配置する。

また、「教養科目」に配する「言葉と文学」「くらしと芸術」「心理学概論」「哲学概論」「生活文化概論」「日本国憲法」「くらしと人権・福祉」「地理学」「近現代史」「地球環境論」「科学史」の授業科目は、政治経済学部として共通開設し、総入学定員の260名を超えない規模で1～4年次配当の選択科目として講義形式で展開し、「情報処理基礎」「基礎数学」「AI・データサイエンス入門」の授業科目は、グローバルビジネス学科の入学定員80名を超えない規模とし、1年次配当の選択科目として、グローバルビジネスに関する専門的な学びの基礎となる視野、教養の養成を図る。

また、「外国語科目」に配する「Basic English I」「Basic English II」「Practical English I」「Practical English II」の授業科目は、40名程度の規模とし、1年次または2年次配当の必修科目として演習形式で展開し、「TOEIC 演習 I」「TOEIC 演習 II」「TOEIC 演習 III」「TOEIC 演習 IV」「日本語 I」「日本語 II」「日本語 III」「日本語 IV」の授業科目は、40名程度の規模で1年次または2年次配当の選択科目として演習形式で開設し、「日本語 I」「日本語 II」「日本語 III」「日本語 IV」は、外国人留学生の選択必修科目として開設する。また、「英会話 I」「英会話 II」は、40名程度の規模で1～4年次配当の選択科目として演習形式で開設する。

また、「保健体育科目」に配する「スポーツ」の授業科目は、40名程度の規模で1年次配当の必修科目として、実験・実習形式で展開し、心身の健康の維持・増進を図る。

また、「キャリア・ガイダンス科目」に配する「キャリア・ガイダンス I」「キャリア・ガイダンス II」「キャリア・ガイダンス III」「キャリア・ガイダンス IV」の授業科目は、学年単位で実施し、1～4年次配当の通年開設の必修科目として演習形式で展開し、大学における学びの意義理解、アカデミックスキルの修得、キャリア意識の形成を図る。

また、「専門教育科目」の科目区分は、「専門科目」「実践演習科目」「プロジェクトゼミ」「卒業研究」によって構成され、「専門科目」は、さらに「学部共通科目」「ビジネス基盤科目」「ビジネス情報科目」「国際ビジネス科目」「ビジネススキル科目」に区分

される。

「学部共通科目」「ビジネス基盤科目」区分は、「グローバルビジネス」の専門の学びの基盤となる知識、視野の修得を、「ビジネス情報科目」区分は、ビジネスに必要な情報に関する知識、能力の修得を、「国際ビジネス科目」区分は、国際ビジネスに関する知識、能力の修得を、「ビジネススキル科目」区分は、ビジネスの実践の場で求められる知識、能力を養成することを目的とし、「実践演習科目」区分は、キャリアに対する意識、実践的な知識、ボランティア精神、国際感覚等を養成することを、「プロジェクトゼミ」区分は、実践の現場における課題テーマに関する情報を収集、考察し、自らの考えを発信する能力を養成することを目的とし、「卒業研究」区分は、各学生が研究テーマを掲げ、研究を深める取り組みを通して、課題解決能力や将来進路に対する意識の養成を図ることを目的とする。

また、「学部共通科目」区分に配する「経済学基礎」「経営学入門」「法学概論」「政治学入門」「政策学概論」の授業科目は、学部入学定員の260名程度までの規模で1年次配当の必修科目として講義形式で展開し、「グローバルビジネス」を学ぶうえで基礎となる知識の修得を図る。

また、「ビジネス基盤科目」区分に配する「企業と社会的価値創造」「マネジメント基礎」「マーケティング基礎」「ファイナンス基礎」「ビジネス法務基礎」の授業科目は、80名程度規模で1年次配当の必修科目として講義形式で展開し、「クリティカル・シンキング」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」の授業科目は、80名程度までの規模で1～3年次配当の選択科目として講義形式で展開し、「クリティカル・シンキング」については選択必修科目とし、「グローバルビジネス」を学ぶうえで基盤となる知識の修得を図る。

また、「ビジネス情報科目」区分に配する「ビジネス情報のための数学」「ビジネス情報のための統計学」は、40名程度の規模で1年次配当の必修科目として講義形式で開設し、「プログラミングⅠ」は、40名程度の規模で1年次配当の選択必修科目として演習形式で実施し、「データサイエンスⅠ」は、40名程度の規模で2年次配当の選択必修科目として講義形式で実施し、「ビジネス情報のための数学演習」「プログラミングⅡ」は、80名程度までの規模で2年次配当の選択科目として演習形式で実施し、「データサイエンスⅡ」は、80名程度までの規模で2年次配当の選択科目として講義形式で実施し、「ITビジネス」「ITソリューションズ」は、80名程度までの規模で2年次または3年次配当の選択科目として講義形式で実施し、ビジネスに必要な情報に関する知識、能力の修得を図る。

また、「国際ビジネス科目」区分に配する「ビジネスと文化」は、80名程度規模で1年次配当の必修科目として講義形式で実施し、「異文化コミュニケーション論」は、80名程度規模で2年次配当の必修科目として講義形式で実施し、「国際経営学」「国際金

融学」「欧米経済論」「アジア経済論」「NPO/NGO 論」「ビジネス国際法務」「地球的規模課題とビジネス (SDGs) は、80 名程度規模で 2 年次または 3 年次配当の選択科目として講義形式で実施し、「Business English I」「Business English II」は、80 名程度までの規模で 3 年次配当の演習科目として実施し、国際ビジネスに関する知識、能力の修得を図る。

また、「ビジネススキル科目」区分に配する「経営戦略論」は、80 名程度までの規模で 2 年次配当の必修科目として講義形式で実施し、「リーダーシップ開発」「マーケティング論」は、80 名程度までの規模で 2 年次または 3 年次配当の選択必修科目として講義形式で実施し、「簿記 I」は、40 名程度までの規模で 1 年次配当の選択科目として講義形式で実施し、「人材マネジメント」「オペレーション戦略」「ビジネスプランニング」「アントレプレナーシップ」「行動経済学」「消費者行動論」「イノベーション論」「ファイナンス論」「簿記 II」「財務会計論」「管理会計論」「金融論」「デザイン思考」「課題解決プロセス」は、80 名程度までの規模で 2 年次または 3 年次配当の選択科目として講義形式で実施し、「ビジネスプレゼンテーション」は、80 名程度までの規模で 1～3 年度配当の選択科目として講義形式で実施し、ビジネスの実践の場で求められる知識、能力の修得を図る。

また、「実践演習科目」区分に配する「キャリア研究 I」は 80 名程度までの規模で 1 年次配当の必修科目として演習形式で、「キャリア研究 II」は 80 名程度までの規模で 2 年次配当の必修科目として演習形式で実施し、「キャリア・ボランティア実践 I」「キャリア・ボランティア実践 II」は、80 名程度までの規模で 1～3 年次配当の選択科目として演習形式で、「インターンシップ」「海外研修」は、80 名程度までの規模で、「インターンシップ」は 1～3 年次配当、「海外研修」は 1～4 年次配当の選択科目として実験・実習形式で実施し、キャリアに対する意識、実践的な知識、ボランティア精神、国際感覚等の修得を図る。

また、「プロジェクトゼミ」区分に配する「プロジェクトゼミ I」「プロジェクトゼミ II」は、80 名程度までの規模で 1 年次および 2 年次配当の必修科目として演習形式で実施し、実践の現場における課題テーマに関する情報を収集、考察し、自らの考えを発信する能力の養成を図る。

また、「卒業研究」区分に配する「卒業研究 I」「卒業研究 II」は、20 名前後の学生を指導教官が担当する形態で展開し、3 年次および 4 年次配当の必修科目として演習形式で実施し、各学生が研究テーマを掲げ、研究を深める取り組みを通して、課題解決能力や将来進路に対する意識の養成を図る。

また、履修指導については、開設する全ての授業について、授業の目的と内容、到達目標、各回の授業内容、使用する教科書・参考書、評価方法等を記載したシラバスを作成し、前述のポータルサイトで公開することにより、学生が円滑に履修計画を策定できる体制を整備するとともに、学生の履修に関する理解を深めるため、入学時にオリエンテーションを実施し、学科の教育目標、養成する人材像、教育課程の編成、単位数の考え方、卒業要件、大学生生活等について説明を行うとともに、各学年の学期当初に履修ガイダンスを実施し、適切な履修計画の策定に向け履修指導を行う。

また、本学科では、各学年に担任教員を配置し、大学生活や履修の進め方、進路等に関する相談、指導にあたりるとともに、学科教務会議、学部教授会を通じて、情報共有、連携を図り、必要に応じ、関係部署と連携協力し適切な学生指導を展開する体制を整備する。

また、本学では、大学全体において、学生への円滑な情報伝達を図るため、「学生情報システム」を導入しており、大学の内外を問わず、システムにアクセスし、ポータルサイト上から履修登録、授業時間割、シラバス、単位取得に関する情報を照会することが可能な体制を整備している。

以上の通り、本学科の教育方法については、本学の教育方針に基づき、政治経済学部他学科と連携し、主体的に設定実施する体制を整備しており、他学部等に影響を与えるものではないと考える。

(3) 教員組織の変更内容

グローバルビジネス学科には、主に「専門教育科目」を担当する基幹教員（主専）として、「実践演習科目」「プロジェクトゼミ」区分の授業科目を主に担当する教授（学科長）、「専門科目」区分の経営、リーダーシップ等分野の授業科目、「プロジェクトゼミ」区分の授業科目を主に担当する教授、「専門科目」区分のビジネス情報分野の授業科目を主に担当する教授、「専門科目」区分の経済学分野の授業科目、「プロジェクトゼミ」区分の授業科目、「卒業研究」を主に担当する教授、「専門科目」区分のビジネス分野の授業科目、「卒業研究」を主に担当する准教授、「専門科目」区分の金融、ファイナンス分野の授業科目、「プロジェクトゼミ」区分の授業科目、「卒業研究」を主に担当する准教授、「専門科目」区分の企業経営分野に関する授業科目、「卒業研究」を主に担当する講師の計7名を配置するとともに、「共通基礎科目」「専門科目」区分の英語関連分野の授業科目を主に担当する基幹教員（専）の講師1名を配置する。

上記の通り、「専門教育科目」区分、「専門科目」の必修の授業科目を中心とする「主要授業科目」には、基幹教員（主専）の教授、准教授を配置するとともに、「専門教育科目」区分の「専門科目」を担当する基幹教員以外の教員には、政治経済学部他学科に所属する教員が担当する体制を整備しており、他学部の教員組織に与える影響は

きわめて限定的であり、問題ないと考える。

(4) 大学全体の施設・設備の変更内容

本学のキャンパスは、最寄駅の JR 京都線の「吹田駅」、阪急千里線の「吹田駅」から、それぞれ徒歩 10 分前後と、交通至便の恵まれた立地にあり、キャンパス周辺には、JR 西日本が展開する商業施設「吹田グリーンプレイス」が広がり、飲食店、スーパーマーケット、小売店、各種クリニック等、学生のキャンパスライフを支える施設が充実している。

また、キャンパス南西は、緑豊かな片山公園に隣接しており、便利かつ自然豊かな環境にある。

また、学生の休息場所として、A 厚生棟 1F に図書館・閲覧スペース（サイレントエリア・コモンズエリア／1,378.98 m²）、C 講義棟 1F（308.30 m²）及び D 講義棟 1F（499.52 m²）にエントランスホール、E 講義棟 1F には食堂（892.86 m²）、カフェ・自習スペース（294.06 m²）を整備するとともに、キャンパス周辺には、前述の商業施設や公園が広がっており、十分な休息スペースを有している。

キャンパスの校地面積（その他以外）は 52,080.33 m²。運動施設として、キャンパス北側に運動場（7,400.64 m²）、A 厚生棟に体育館（1,762.78 m²）、また、令和 5（2023）年 4 月供用開始で G アリーナ棟（5,470.71 m²）、そして、学園共用の運動施設（11,858.00 m²）を有している。

また、校舎については、A 厚生棟、B 管理棟、C 講義棟、D 講義棟、E 講義棟に加え、令和 5（2023）年 4 月供用開始で、F 講義棟（4,648.92 m²）、および、レクチャーホール（講義エリア）を有する G アリーナ棟（5,470.71 m²）を建築し、総面積 48,861.79 m²の校舎を整備するとともに、キャンパス中央に、芝生広場や小川を配した緑地エリア（約 8,800 m²）を整備する。

また、B 管理棟 5F の政治経済学部の教員フロア（686.35 m²）には、教員相互の教育研究の連携、情報交換を目的とした教員室（共同研究室）、個別研究室の 2 つの機能からなる研究空間を整備している。

個別研究室は、施錠可能な完全個室とし、机椅子、棚、ロッカーを配備し、教員室（共同研究室）には、全専任教員の机・椅子等を配備している。また、情報インフラについては、全棟フリーアクセスのネット環境を整備し、学内ネットワークに厳格なセキュリティシステムを導入するとともに、「個人情報等の取り扱いに関するガイドライン」の徹底を図ることにより、厳重なデータセキュリティ体制を整備している。

また、授業は、全棟無線 LAN 完備の E 講義棟の 2C 講義室（収容定員 60 名）、講義室 4A（収容定員 60 名）、中講義室 4D（収容定員 105 名）、中講義室 4E（収容定員 105 名）、演習室 1～5（各収容定員 33 名）と、連結して新設された F 講義棟の大講義室 1A（収

容定員 275 名)、中講義室 2F (収容定員 110 名)、中講義室 2H (収容定員 100 名) において展開する。

また、図書館は、A 厚生棟 1 階に位置しており、総面積 1,378.98 m² (本館・サイレントエリア/閲覧スペース・コモンズエリア)、閲覧席数 432 席の規模で、学生証、職員証による磁気管理の入館管理システムを配備するとともに、オンライン蔵書目録 OPAC をインターネットで公開し、学内外から蔵書検索が可能なシステムを導入している。新設のグローバルビジネス学科に関連する図書・雑誌を完備するとともに、開設後も、教職員、学生の希望を考慮し、必要に応じて新刊書の整備を継続する計画である。

以上の通り、新設のグローバルビジネス学科設置を視野に入れた新設校舎等の整備拡充を図っており、他学部の施設・設備に与える影響はきわめて限定的であり、問題ないと考える。

教育課程等の概要																
(政治経済学部グローバルビジネス学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)教員
教養科目	言葉と文学	1・2・3・4前		2			○							1	オムニバス	
	くらしと芸術	1・2・3・4前		2			○							2		
	心理学概論	1・2・3・4前		2			○							1		
	哲学概論	1・2・3・4後		2			○							1		
	生活文化概論	1・2・3・4前		2			○							1		
	日本国憲法	1・2・3・4前		2			○							1		
	くらしと人権・福祉	1・2・3・4後		2			○							1		
	地理学	1・2・3・4後		2			○							1		
	近現代史	1・2・3・4後		2			○							1		
	地球環境論	1・2・3・4後		2			○							1		
	情報処理基礎	1前		2			○			1				1		
	科学史	1・2・3・4後		2			○							1		
	基礎数学	1前		2			○			1						
	AI・データサイエンス入門	1前		2			○			1						
共通基礎科目	外国語科目	Basic English I	1前	2				○		1		1			共同 共同	
		Basic English II	1後	2				○		1		1				
		Practical English I	2前	2				○				1				
		Practical English II	2後	2				○				1				
		TOEIC演習 I	1前		2			○				1				
		TOEIC演習 II	1後		2			○				1				
		TOEIC演習 III	2前		2			○				1				
		TOEIC演習 IV	2後		2			○				1				
		英会話 I	1・2・3・4前		1			○								1
		英会話 II	1・2・3・4後		1			○								1
		日本語 I	1前		2			○								1
		日本語 II	1後		2			○								1
		日本語 III	2前		2			○								1
		日本語 IV	2後		2			○								1
育保科健目体	スポーツ	1前		1				○						1		
ガイダンス・キャリア科目	キャリア・ガイダンス I	1通		2				○						1		
	キャリア・ガイダンス II	2通		2				○						1		
	キャリア・ガイダンス III	3通		2				○						1		
	キャリア・ガイダンス IV	4通		2				○						1		
	小計 (33科目)	—	—	21	42	0		—		3	1	1	0	0	14	
専門教育科目	学部共通科目	経済学基礎	1前	○	2			○		1						
		経営学入門	1前	○	2			○		1						
		法学概論	1前		2			○							1	
		政治学入門	1前		2			○							1	
		政策学概論	1前		2			○							1	
	ビジネス基礎科目	企業と社会的価値創造	1前	○	2			○		1						
		マネージメント基礎	1後	○	2			○				1				
		マーケティング基礎	1前	○	2			○			1					
		ファイナンス基礎	1後	○	2			○			1					
		ビジネス法務基礎	1後	○	2			○			1				1	
	ビジネス情報科目	クリティカル・シンキング	1・2後	○		2			○		1					
		マイクロ経済学	2・3前			2			○		1					
		マクロ経済学	2・3後			2			○		1					
		ビジネス情報のための数学	1後		2			○		1						
ビジネス情報科目	ビジネス情報のための数学演習	2前			1			○		1						
	ビジネス情報のための統計学	1前	○	2			○		1							
	プログラミング I	1後			1			○		1						
	プログラミング II	2前			1			○		1						
	データサイエンス I	2前			1			○		1						
	データサイエンス II	2後			1			○		1						
	ITビジネス	2・3後	○	2			○			1						
	ITソリューションズ	2・3後			2			○		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考				
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員(助手を除く)以外の教員			
専門教育科目	国際ビジネス科目	ビジネスと文化	1後	○	2						1								
		異文化コミュニケーション論	2前	○	2							1	1						
		国際経営学	2・3後	○		2						1							
		国際金融論	2・3後	○		2						1							
		欧米経済論	2・3後	○		2							1						
		アジア経済論	2・3前	○		2						1							
		NPO/NGO論	2・3前			2							1						
		ビジネス国際法務	2・3前			2								1					1
		地球的規模課題とビジネス(SDGs)	2・3後			2								1					
		Business English I	3前			1				○					1				
	Business English II	3後			1				○					1					
	ビジネススキル科目	経営戦略論	2前	○	2						1								
		リーダーシップ開発	2・3前	○		2					1								
		人材マネジメント	2・3後			2							1						
		オペレーション戦略	2・3後			2							1						
		ビジネスプランニング	2・3後			2					1								
		アントレプレナーシップ	2・3後			2							1						
		マーケティング論	2・3前			2								1					
		行動経済学	2・3前			2							1						
		消費者行動論	2・3前			2							1						
イノベーション論		2・3後			2							1							
ファイナンス論	2・3前			2							1								
簿記 I	1後			2							1								
簿記 II	2・3前			2							1								
財務会計論	2・3前			2							1								
管理会計論	2・3後			2							1								
金融論	2・3後			2						1									
デザイン思考	2・3前			2								1							
課題解決プロセス	2・3前			2						1									
ビジネスプレゼンテーション	1・2・3前			2							1								
実践演習科目	キャリア研究 I	1通		2					○		2							共同	
	キャリア研究 II	2通		2					○		2							共同	
	キャリア・ボランティア実践 I	1・2・3通			2				○									2	
	キャリア・ボランティア実践 II	1・2・3通			2				○									2	
	インターンシップ	1・2・3通			2					○		1						共同	
海外研修	1・2・3・4通			2					○		1						共同		
プロジェクトゼミ	プロジェクトゼミ I	1通		2					○		3	1						共同	
	プロジェクトゼミ II	2通		2					○		3	1						共同	
卒業研究	卒業研究 I	3通		4					○		1	2	1					共同	
	卒業研究 II	4通		4					○		1	2	1					共同	
小計(62科目)		—	—	46	77	0			—		4	2	2	0	0	5		—	
合計(95科目)		—	—	67	119	0			—		4	2	2	0	0	17		—	
学位又は称号		学士(グローバルビジネス)					学位又は学科の分野					経済学関係							
卒業要件及び履修方法										授業期間等									
以下に掲げる基準を満たし、合計124単位以上修得することを卒業要件とする。										1学年の学期区分					2期				
<共通基礎科目> ・必修科目21単位を修得すること。 ・選択科目から16単位以上修得すること(外国人留学生は日本語Ⅰ～Ⅳを含む)。 <専門教育科目> ・必修科目46単位を修得すること。 ・「学部共通科目」「ビジネス基盤科目」「ビジネス情報科目」「国際ビジネス科目」区分の選択科目から、クリティカル・シンキング、プログラミングⅠ、データサイエンスⅠを含み、12単位以上修得すること。 ・「ビジネススキル科目」「実践演習科目」区分の選択科目から、リーダーシップ開発、マーケティング論を含み、22単位以上修得すること。										1学期の授業期間					15週				
※履修科目の登録の上限は、年間45単位を上限とする。										1時限の授業の標準時間					90分				

目 次

1	学生確保の見通し及び申請者としての取組状況	・・・	p.2
	(1) グローバルビジネス学科を設置する大和大学等の現状把握・分析	・・・	p.2
	(2) 地域・社会的動向等の現状把握・分析	・・・	p.2
	(3) グローバルビジネス学科の趣旨目的、教育内容、定員設定等	・・・	p.3
	(4) 学生確保の見通し	・・・	p.4
	(5) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	・・・	p.9
2	人材需要の動向等社会の要請	・・・	p.11
	(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)	・・・	p.11
	(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	・・・	p.11

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) グローバルビジネス学科を設置する大和大学等の現状把握・分析

大和大学は、平成 26 (2014) 年 4 月、設置母体の学校法人西大和学園設立の精神である「国づくりは人づくりから」を柱に、「高い専門性と幅広い視野を授けるとともに、豊かな人間性を涵養し、一人ひとりの「ひと」を見つめ、学術文化の向上と社会の発展に貢献する有能な人材を育成する」を建学の精神に掲げ、教育学部、保健医療学部の 2 学部からなる大学として開学した。

その後、平成 28 (2016) 年 4 月に政治経済学部、令和 2 (2020) 年 4 月に理工学部、令和 3 年 4 月に社会学部を開設し、令和 5 (2023) 年 4 月には情報学部の開設を予定しており、理系・文系計 6 学部 8 学科を擁する収容定員 4,900 人の総合大学となる。

キャンパスは、京阪神を結ぶ大動脈 J R 京都線の「吹田駅」(J R 大阪駅から約 9 分) から徒歩 10 分以内でキャンパスに立つことができる非常に恵まれた場所に位置している。

令和 5 (2023) 年で開学 10 周年を迎えるが、開学以来、キャンパス用地拡大、校舎施設建設、学部学科設置に断続的に取り組みつつ、広報活動、学生募集に精力的に取り組み、大学名の認知を図るとともに、「機動力のある大学」、「社会が求める人材を世に輩出する大学」づくりを大学運営の根幹に据え、大学運営体制、組織体制構築に懸命に取り組んできた。

この度、グローバルビジネス学科を開設する政治経済学部は、本学が有する学部のなかでも、特に、学園の設立の精神、大学建学の精神を色濃く反映した学部であり、これまで学科名変更、定員変更を重ねつつ、教育研究レベル向上、志願者増を実現し、理想のあり方を模索し続けてきた。

国際社会は、混沌と混乱の只中にあり、わが国は、先の見えない世界情勢下、未曾有の少子高齢化と向き合い未来を模索し続けており、揺れ動く世界情勢を正しく捉え、国際社会を舞台に活躍できるコミュニケーション能力、知識能力を備えた真のグローバル人材の養成が急務の課題となっている。

本学では、こうした社会の要請に応えるべく、政治経済学部経済経営学科の国際経済コースを廃し、学びの系統化、深化を図り、グローバルビジネス学科を開設することとした。

新学科の基礎となる既設の経済経営学科の志願倍率、定員充足率は、いずれも、これまで堅調に推移してきており、経済経営学科国際経済コースの学びを発展させ、入学定員を適正少数規模に絞りこんだ新学科を新たに開設し、入試制度に学部内併願制度を導入することで、政治経済学部全体の魅力は一層高まり、さらに志願者層が広がるものとする。

(2) 地域・社会的動向等の現状把握・分析

この度設置するグローバルビジネス学科の定員充足について、「令和4(2022)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」の「地域別動向」をみると、本学が立地する「大阪」の入学定員充足率は、令和3(2021)年度103.74%、令和4(2022)年度102.98%と減少傾向にあるものの、令和4(2022)年度の全国平均100.84%を上回る数値を示しており、地域区分別では東京に次ぐ数値を示している。

また、「私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向」をみると、グローバルビジネス学科が属する「社会科学系統」の入学定員充足率は、令和3(2021)年度101.56%、令和4(2022)年度102.73%で1.17%増、また、「経営学部」の入学定員充足率は、令和3(2021)年度103.28%、令和4(2022)年度104.78%で1.50%増、また、同系統の学部名「国際経営学部」の入学定員充足率は、令和3(2021)年度78.49%、令和4(2022)年度89.29%で10.80%増と、いずれも堅調に推移している。

【資料1】 私立大学 地域別動向（令和4(2022)年度 私立大学・短期大学等入学志願動向）

【資料2】 私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向（令和4(2022)年度 私立大学・短期大学等入学志願動向）

(3) グローバルビジネス学科の趣旨目的、教育内容、定員設定等

このたび設置するグローバルビジネス学科は、「社会の国際化に対応し、経営学に関する学識とともに、国際的な視野、実践的な知識、能力を有する世界を舞台に活躍するグローバルビジネス人材を養成すること」を教育目標に、「共通基礎科目」区分のもとに「教養科目」「外国語科目」「保健体育科目」「キャリア・ガイダンス科目」、「専門教育科目」区分のもとに「専門科目」「実践演習科目」「プロジェクトゼミ」「卒業研究」、「専門科目」、「専門科目」区分は、さらに「学部共通科目」「ビジネス基礎科目」「ビジネス情報科目」「国際ビジネス科目」「ビジネススキル科目」に区分される教育課程を、入学定員80名で展開する。

入学定員設定にあたっては、近畿圏主要私立大学の同系統学部学科の入学定員、志願者数、志願倍率の分析を行ったところ、平均入学定員410人（最高893人、最低135人）、平均志願倍率約6.65倍であったが、後述の高校生へのアンケート調査結果、また、教育研究の質の維持を念頭に、適正規模少数に絞り込み設定した。

本学科の設置は、系列の教育施設、大和大学において、学園創設来実践してきた国際理解教育の延長線上に位置する取り組みであり、これまで政治経済学部経済経営学科で展開してきた学びの専門性を深め、真のグローバル人材の養成を目指そうとするものである。

本学科が養成する「社会の国際化に対応し、経営学に関する学識とともに、国際的な視野、実践的な知識、能力を有する世界を舞台に活躍するグローバルビジネス人材」は、世界的規模の課題に直面しているわが国が、今まさに必要としている人材であり、本学科の設置は、社会の要請といえる。

また、学生納付金の設定にあたって、安定的な志願者、入学者の確保、また、適切な教育研究環境を構築するため、関西の同系統・隣接学部学科を有する主要私立大学8大学の学生納付金を調査したところ、初年度納付金は、(平均額 1,179,000 円、最高 1,418,000 円、最低額 890,000 円)、入学金(平均額 224,000 円、最高額 260,000 円、最低額 200,000 円)、授業料(平均額 868,000 円、最高額 1,101,000 円、最低額 640,000 円)であった。

これら調査結果をふまえ、競合他大学との関係、学生確保の観点、また、政治経済学部他学科の金額、財政的な健全性維持の観点から適切な金額設定を検討し、グローバルビジネス学科の学生納付金を以下の通りに設定した。

<初年度納付金> 合計 1,170,000 円 (入学金 200,000 円、授業料 970,000 円)
 <2年次以降> 合計 1,170,000 円 (授業料 1,170,000 円)

【資料3】 令和4(2022)年度 近畿圏私立大学 グローバルビジネス学科同系統・隣接分野学部学科 入学定員・入試結果一覧

【資料4】 近畿圏主要私立大学 グローバルビジネス学科同系統・隣接系統学部学科 納付金一覧

(4) 学生確保の見通し

○ 学生確保の見通しの調査結果

この度のグローバルビジネス学科の設置にあたり、第三者機関に依頼実施し、現高等学校2年生を対象とする本学科への受験、入学意欲に関するアンケート調査を実施し、以下の結果を得た。

<グローバルビジネス学科についての高校生を対象としたアンケート調査>

実施概要

調査目的	令和6(2024)年4月新設予定の大和大学「グローバルビジネス学科(仮称)」(入学定員80名を予定)の学生確保の見通しを測定するために高校生を対象としたアンケート調査を実施した。
調査時期	令和5(2023)年1月～令和5(2023)年3月
調査対象者	令和6(2024)年度に大学進学時期を迎える者
調査内容	選択肢式の7問 ■ 回答者の基本情報

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 回答者の希望進路 ■ 大和大学「グローバルビジネス学科（仮称）」への興味、受験・入学意向等
調査方法	<p>高校側の希望に基づき、紙方式・WEB方式のいずれかでアンケート調査を実施。高校生アンケート用紙（必要部数）を送付。各校の教職員から調査対象者にアンケート用紙を配布のうえ、ホームルームで配付回収対応。</p> <p>WEB方式の場合、担当教員にアクセス用QRコードを送付。生徒のタブレット端末に送信、回答送信対応。</p>
実施人数	4,796件

以上の通り、高校生アンケート調査は、本学が学生確保の基盤とする近畿地方を中心とした高校に依頼を行い、47校（大阪府29校、兵庫県8校、京都府4校、滋賀県1校、奈良県4校、和歌山県1校）より実施協力をいただき、これら47校に在籍する高校2年生（令和6（2024）年3月卒業予定・令和6（2024）年度に大学進学時期を迎える者）合計4,796人を対象に高校生アンケート調査を行った。アンケート調査においては、本学のグローバルビジネス学科の特色・学費・アクセスなどを具体的に示したうえで、受験意欲について回答を求めた。

その結果、457人（回答者全体の9.5%）がグローバルビジネス学科を「受験したい」と回答し、また、受験意欲を示した457人に対し合格した場合の入学意欲について回答を求めたところ、167人が「合格した場合、入学したい」、285人が「合格した場合、併願先の結果によっては入学したい」と回答した。「入学したい」と回答した高校生167人のみで、グローバルビジネス学科が予定する入学定員80名を上回っており、さらに「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した285人を加えると、グローバルビジネス学科への入学を具体的に検討している者は計452人（入学定員80名の5.65倍）となり、入学定員を上回る十分な学生確保の見通しが得られた。

【資料5】 大和大学「グローバルビジネス学科（仮称）」設置に係る学生確保の見直し調査報告書

○ 新設学部等の分野の動向

前述の通り、「私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向」をみると、グローバルビジネス学科が属する「社会科学系統」の入学定員充足率は、令和3（2021）年度101.56%、令和4（2022）年度102.73%で1.17%増、「経営学部」の入学定員充足率は、令和3（2021）年度103.28%、令和4（2022）年度104.78%で1.50%増、同系統の学部名「国際経営学部」の入学定員充足率は、令和3（2021）年度78.49%、令和4（2022）年度89.29%で10.80%増と、いず

れも堅調に推移している。

また、この度設置するグローバルビジネス学科の志望動向の分析にあたり、本学の立地位置、通学圏、また、本学科志望者が検討すると考えられる経営学、国際分野関連の学部学科、既設学部学科の実績から想定される受験者層を念頭に選定した「令和 4(2022)年度近畿圏私立大学 グローバルビジネス学科 同系統・隣接分野学 部学科 入学定員・入試結果一覧」をみると、同系統・隣接分野学部を有する 8 大学の志願倍率は、最高 13.41 倍、最低 2.94 倍、平均 6.65 倍で、いずれの大学も概ね入学定員を充足している状況にあり、この度設置するグローバルビジネス学科の入学定員が 80 名と小規模であることを鑑みると、十分、定員充足できるものとする。

【資料 2】 私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向 (令和 4(2022)年度 私立大学・短期大学等入学志願動向)

【資料 3】 令和 4(2022)年度 近畿圏私立大学 グローバルビジネス学科同系統・隣接分野学部学科 入学定員・入試結果一覧

○ 中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向等

18 歳人口減少については、平成 30 年 2 月開催の中央教育審議会大学分科会将来構想部会 (第 13 回) の「大学進学者数等の将来推計について」において、2033 年には、2017 年時点の約 120 万人が約 101 万人に、2040 年には約 88 万人に減少することが予想される旨、提起されたが、近年の大幅な出生数減少傾向により、さらに減少速度が早まるものと考えられる。

この厳しい状況下、本学の学生募集主軸都道府県である滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県の状況について、まず、人口増減率をみると、平成 22(2010)年度から令和 2(2020)年度の 10 年間の人口増減率が全国平均 98.51%のところ、対象都道府県平均は 98.87%、また、近年の平成 27(2015)年度から令和 2(2020)年度の 5 年間の人口増減率をみると、全国平均 99.25%のところ、対象都道府県は 99.39%と、いずれも全国平均に比べ高い数値を示している。

また、令和 2(2020)年度の都道府県別・年齢階層別人口の直近統計データをみると、対象都道府県の人口総数は 18,210 千人と、全国総人口 125,502 千人の 14.50%を占めており、若年年齢階層の人口比率をみると、15～19 歳の年齢階層では、全国平均 4.45%に対して、対象都道府県平均が 4.67%、10～14 歳の年齢階層では、全国平均 4.27%に対して対象都道府県平均が 4.40%、5～9 歳の年齢階層では、全国平均 4.01%に対して対象都道府県が 4.11%、0～4 歳の年齢階層では、全国平均 3.50%に対して対象都道府県が 3.57%と、いずれも高い数値を示している。

また、平成 22(2010)年度と令和 2(2020)年度の都道府県別・出生数対比データをみると、全国平均増減率 44.22%に対して、対象都道府県が 46.0%と高い数値を示しており、全国的

な傾向同様、対象都道府県においても18歳人口減少の傾向は続くものの、本学の学生募集対象主要都道府県エリアは、比較的緩やかな傾向にあるといえる。

【資料6】 大学進学者数等の将来推計について

【資料7】 都道府県別・人口増減率データ

【資料8】 令和2(2020)年度 都道府県別・階層別人口データ

【資料9】 都道府県別・出生数対比データ

○ 競合校の状況

本学の立地位置、通学圏、また、本学科志望者が検討すると考えられる経営学、国際分野関連の学部学科、既設学部学科の実績から想定される受験者層を念頭に選定した対象大学学部学科の入試結果をまとめた「令和4(2022)年度 近畿圏私立大学 グローバルビジネス学科 同系統・隣接分野学 部学科 入学定員・入試結果一覧」をみると、同系統・隣接分野学部を有する8大学の志願倍率は、最高13.41倍、最低2.94倍、平均6.65倍で、いずれの大学も概ね入学定員を充足している状況にあり、この度設置するグローバルビジネス学科の入学定員が80名と小規模であることを鑑みると、十分、定員充足できるものと考ええる。

【資料2】 私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向（令和4(2022)年度 私立大学・短期大学等入学志願動向）

○ 既設学部等の学生確保の状況

直近5年間の本学の入試結果推移データをみると、教育学部教育学科の志願倍率は、実志願者数において、平成30(2018)年度が9.59倍、令和元(2019)年度が16.11倍、令和2(2020)年度が14.92倍、令和3(2021)年度が13.49倍、令和4(2022)年度が16.62倍と堅調に推移しており、入学定員充足率も、平成30(2018)年度、1.04、令和元(2019)年度、1.17、令和2(2020)年度、1.15、令和3(2021)年度、1.01、令和4(2022)年度、1.15と定員充足を続けている。

また、保健医療学部看護学科の志願倍率は、実志願者数において、平成30(2018)年度が15.45倍、令和元(2019)年度が16.56倍、令和2(2020)年度が18.17倍、令和3(2021)年度が14.08倍、令和4(2022)年度が20.28倍と堅調に推移しており、入学定員充足率も、平成30(2018)年度、1.08、令和元(2019)年度、1.13、令和2(2020)年度、1.20、令和3(2021)年度、1.05、令和4(2022)年度、1.10と定員充足を続けている。

また、保健医療学部総合リハビリテーション学科の志願倍率は、実志願者数において、平成30(2018)年度が6.29倍、令和元(2019)年度が5.58倍、令和2(2020)年度が7.25倍、

令和 3(2021)年度が 5.40 倍、令和 4(2022)年度が 7.94 倍と堅調に推移しており、入学定員充足率も、平成 30(2018)年度、1.04、令和元(2019)年度、1.12、令和 2(2020)年度、1.15、令和 3(2021)年度、1.05、令和 4(2022)年度、1.01 と定員充足を続けている。

また、政治経済学部政治・政策学科の志願倍率は、実志願者数において、平成 30(2018)年度が 6.45 倍、令和元(2019)年度が 9.45 倍、令和 2(2020)年度が 8.85 倍、令和 3(2021)年度が 6.85 倍、令和 4(2022)年度が 13.52 倍と堅調に推移しており、入学定員充足率も、平成 30(2018)年度、0.95、令和元(2019)年度、1.15、令和 2(2020)年度、1.07、令和 3(2021)年度、1.15、令和 4(2022)年度、1.02 と定員充足を続けている。

また、政治経済学部経済経営学科の志願倍率は、実志願者数において、平成 30(2018)年度が 8.58 倍、令和元(2019)年度が 12.00 倍、令和 2(2020)年度が 12.15 倍、令和 3(2021)年度が 9.77 倍、令和 4(2022)年度が 12.67 倍と堅調に推移しており、入学定員充足率も、平成 30(2018)年度、1.21、令和元(2019)年度、1.16、令和 2(2020)年度、1.10、令和 3(2021)年度、1.07、令和 4(2022)年度、1.05 と定員充足を続けている。

また、令和 2(2020)年度開設の理工学部理工学科の志願倍率は、実志願者数において、令和 2(2020)年度が 10.31 倍、令和 3(2021)年度が 7.62 倍、令和 4(2022)年度が 11.43 倍と堅調に推移しており、入学定員充足率も、令和 2(2020)年度、1.13、令和 3(2021)年度、1.01、令和 4(2022)年度、1.10 と定員充足を続けている。

また、令和 3(2021)年度開設の社会学部社会学科の志願倍率は、実志願者数において、令和 3(2021)年度が 12.65 倍、令和 4(2022)年度が 12.58 倍と堅調に推移しており、入学定員充足率も、令和 3(2021)年度、1.08、令和 4(2022)年度、1.17 と定員充足を続けており、この度、設置するグローバルビジネス学科の定員規模が入学定員 80 名と小規模であることも鑑みると、十分、定員充足できるものとする。

【資料 10】 大和大学 入試結果推移データ

○ その他、申請者において検討・分析した事項

また、直近 5 年間の本学のオープンキャンパス・資料請求者数推移データをみると、大学全体のオープンキャンパス参加者数は、平成 30(2018)年度 2,810 人、令和元(2019)年度 3,844 人、令和 2(2020)年度は統計なし、令和 3(2021)年度 4,779 人、令和 4(2022)年度 5,501 人、資料請求者数は、平成 30(2018)年度 68,522 人、令和元(2019)年度 69,577 人、令和 2(2020)年度 69,553 人、令和 3(2021)年度 63,567 人、令和 4(2022)年度 76,585 人と、コロナ禍 2 年目の令和 3(2021)年度に資料請求者数が急減したものの、翌年盛り返し、堅調に推移している。

また、うち政治経済学部の人数は、オープンキャンパス参加者数が、平成 30(2018)年度 402 人、令和元(2019)年度 453 人、令和 2(2020)年度は統計なし、令和 3(2021)年度 470 人、令和 4(2022)年度 745 人、資料請求者数は、平成 30(2018)年度 3,786 人、令和元(2019)年度 3,985 人、令和 2(2020)年度 4,996 人、令和 3(2021)年度 8,769 人、令和 4(2022)年

度 13,525 人と、堅調に推移している。

【資料 1 1】 大和大学 オープンキャンパス・資料請求者数推移データ

(5) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

学生確保に向け、以下のホームページ、案内資料、各種広報媒体、オープンキャンパス、説明会等の広報展開を図る。

○ ホームページ展開

本学ホームページに、グローバルビジネス学科新設に関するインフォメーションを掲載するとともに、特設ページを開設し、学部新設についての情報提供を行う。

○ 大学案内展開

本学大学案内（100,000 部）に、グローバルビジネス学科新設に関する情報を掲載し、高校、塾予備校訪問、オープンキャンパス、各種説明会等で広く配布する。

○ 専用リーフレット展開

前述の大学案内に加え、特に、新たに学科を新設するグローバルビジネス学科の教育内容、特色等を掲載したリーフレットを作成する（80,000 部）。

本リーフレットは、高校、塾予備校への配置、資料請求者への発送物、オープンキャンパス、各種説明会、ダイレクトメール等の広報展開において活用する。

○ 入試ガイド展開

グローバルビジネス学科新設に関する入試概要を記載したガイドを作成し（80,000 部）、前述の大学案内、リーフレットと同様に広く配布する。

○ 各種広報媒体展開

大学全体の広報として、主に以下の媒体による告知広報を展開する。

- ・進学情報業者による進学情報誌、進学情報サイト
- ・J R 西日本、阪急電鉄、近鉄日本鉄道、阪神電鉄、京阪電鉄、南海電鉄、大阪メトロな

ど関西圏内の主要交通機関のメディア

- ・ グーグル、ヤフー、ユーチューブ、SNS（ツイッター、インスタグラムなど）のWeb広告
- ・ 新聞（全国紙、地方紙）
- ・ ダイレクトメール、各種メディアによる告知広報

○ オープンキャンパス

年間6回程度のオープンキャンパスを開催し（6月、7月、8月、9月、11月予定）、グローバルビジネス学科新設に関する説明を行うとともに、希望者には入試、奨学金、入学後の学び、就職指導、下宿などの各種個別相談を実施する。また、在学生とのふれ合いを通じて入学後のキャンパスライフをイメージできるよう、在学生とのフリートークコーナーや、キャンパスツアーの取り組みを展開する。

○ キャンパス見学会

オープンキャンパスと並行して年間を通じてキャンパス見学会を開催する。

○ 教員対象説明会

本学会場、及び、神戸、姫路、京都、彦根、奈良、和歌山の各会場において、高等学校、及び塾予備校教員を対象とする説明会を開催する（例年は本学会場のみの実施で参加者100名程度だが、実施会場増を計画している）。

○ 高等学校・塾予備校等での説明会

高等学校、塾予備校に依頼し、本学の各学部学科分野を志望している受験生対象に進学説明会を開催する。

○ 系列高等学校での説明会

同法人系列校の西大和学園高等学校において生徒対象説明会を開催する。

○ 高等学校、塾予備校等への訪問アプローチ

大阪都心から約10分と、本学の立地はアクセス利便性が高く、通学可能な大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県の近畿2府4県の重点校（高等学校500校、塾予備校約3,500校）を年間を通じて定期的に訪問し、各学部の学びに関する告知、広報展開を図る。

また、近畿圏外の高等学校 700 校、塾予備校 800 校にも同様のアプローチを展開する。

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

このたび設置するグローバルビジネス学科では、「社会の国際化に対応し、経営学に関する学識とともに、国際的な視野、実践的な知識、能力を有する世界を舞台に活躍するグローバルビジネス人材を養成する」を教育研究上の目的とする。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

新たに開設するグローバルビジネス学科が養成する人材需要の見通しについて、第三者機関に企業対象アンケート調査を依頼実施し、以下の回答を得た。

<グローバルビジネス学科についての人材需要アンケート調査>

実施概要

調査目的	令和 6 (2024) 年 4 月新設予定の大和大学「グローバルビジネス学科 (仮称)」(入学定員 80 名予定) の人材需要の見通しについて、採用が見込まれる企業等を対象とするアンケート調査を実施した。
調査時期	令和 5 (2023) 年 2 月
調査対象	■ 大和大学政治経済学部卒業生の採用実績先 (196 カ所)
調査内容	■ 全 7 問・主に選択肢式 (一部記述) ■ 大和大学政治経済学部「グローバルビジネス学科 (仮称)」が養成する人材の社会的ニーズ、採用意向
有効回答件数	86 カ所 (回収率 8.5%)

以上の通り、人材需要アンケート調査はグローバルビジネス学科の養成人材 (卒業生) 需要が見込まれる政治経済学部卒業生の採用実績先企業等にアンケート調査を依頼し、86 カ所から回答を得た。

回答企業等を種類別でみると、回答数が多い順に「製造業」21 カ所 (全体の 24.4%)、卸

売業・小売業 19 カ所（全体の 22.1%）、本社、主たる事業所の所在地別でみると、回答数が多い順に「東京都」32 カ所（同 37.2%）、「大阪府」23 カ所（同 26.7%）、従業員数規模でみると、回答数が多い順に「300～499 人」23 カ所（同 26.7%）、「1,000～2,999 人」22 カ所（同 25.6%）で、東京都、大阪府を拠点とする幅広い業種、さまざまな規模の企業等 86 カ所から回答を得た。

これら回答を得た企業等について、グローバルビジネス学科の社会的ニーズ、採用意向の回答結果をみると、まず、社会的ニーズについては、回答数が多い順に「ニーズは極めて高い」20 カ所（同 23.3%）、「ニーズはある程度高い」58 カ所（同 67.4%）と合計すると約 9 割を超える企業等から社会的ニーズが高いという回答結果を得た。

また、採用意向については、「採用したい」という回答が 48 カ所（55.8%）、採用可能人数は、予定する入学定員 80 名を上回る 112 名の回答結果を得た。

上記の通り、本調査（回収率 8.5%）のみの結果においても採用可能人数が入学定員を上回っており、また、前述の「学則変更の趣旨を記載した書類」の必要性に記載した社会的背景、社会が求める人材をふまえると、グローバルビジネス学科が養成する人材の社会的需要は高いものと考ええる。

また、政治経済学部卒業生進路実績データをみてみると、令和 2(2020)年 3 月卒業の第 1 期生が、卒業生 110 人に対して、就職者数 108 人(98.2%)、進学者数 1 人(0.9%)、令和 3(2021)年 3 月卒業の第 2 期生が、卒業生 117 人に対して、就職者数 114 人(97.4%)、進学者数 3 人(2.6%)、令和 4(2022)年 3 月卒業の第 3 期生が、卒業生 128 人に対して、就職者数 125 人(97.7%)、進学者数 3 人(2.3%)と高い就職率を継続しており、これまで政治経済学部において展開してきたキャリア指導、ノウハウを新たに設置するグローバルビジネス学科に導入、展開することによって、前述の社会が求める人材を、十分世に輩出することができるものと考ええる。

【資料 1 2】 大和大学「グローバルビジネス学科（仮称）」設置に係る人材需要の見直し調査報告書

【資料 1 3】 政治経済学部 卒業生進路実績データ

資料目次

- 【資料1】 私立大学 地域別動向（令和4(2022)年度 私立大学・短期大学等入学志願動向） . . . p. 2
- 【資料2】 私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向（令和4(2022)年度 私立大学・短期大学等入学志願動向） . . . p. 4
- 【資料3】 令和4(2022)年度 近畿圏私立大学 グローバルビジネス学科同系統・隣接分野学部学科 入学定員・入試結果一覧 . . . p.6
- 【資料4】 近畿圏私立大学 グローバルビジネス学科同系統・隣接分野学部学科 納付金一覧 . . . p. 7
- 【資料5】 大和大学「グローバルビジネス学科（仮称）」設置に係る学生確保の見通し調査報告書 . . . p. 8
- 【資料6】 大学進学者数等の将来推計について . . . p. 29
- 【資料7】 都道府県別・人口増減率データ . . . p. 30
- 【資料8】 令和2(2020)年度 都道府県別・年齢階層別人口データ . . . p. 31
- 【資料9】 都道府県別・出生数対比データ . . . p. 32
- 【資料10】 大和大学 入試結果推移データ（直近5か年） . . . p. 33
- 【資料11】 大和大学 オープンキャンパス・資料請求者数推移データ（直近5か年） . . . p. 36
- 【資料12】 大和大学「グローバルビジネス学科（仮称）」設置に係る人材需要の見通し調査報告書 . . . p. 37
- 【資料13】 政治経済学部 卒業生進路実績データ . . . p. 55

【資料1】 私立大学 地域別動向 (令和4(2022)年度 私立大学・短期大学等入学志願動向)

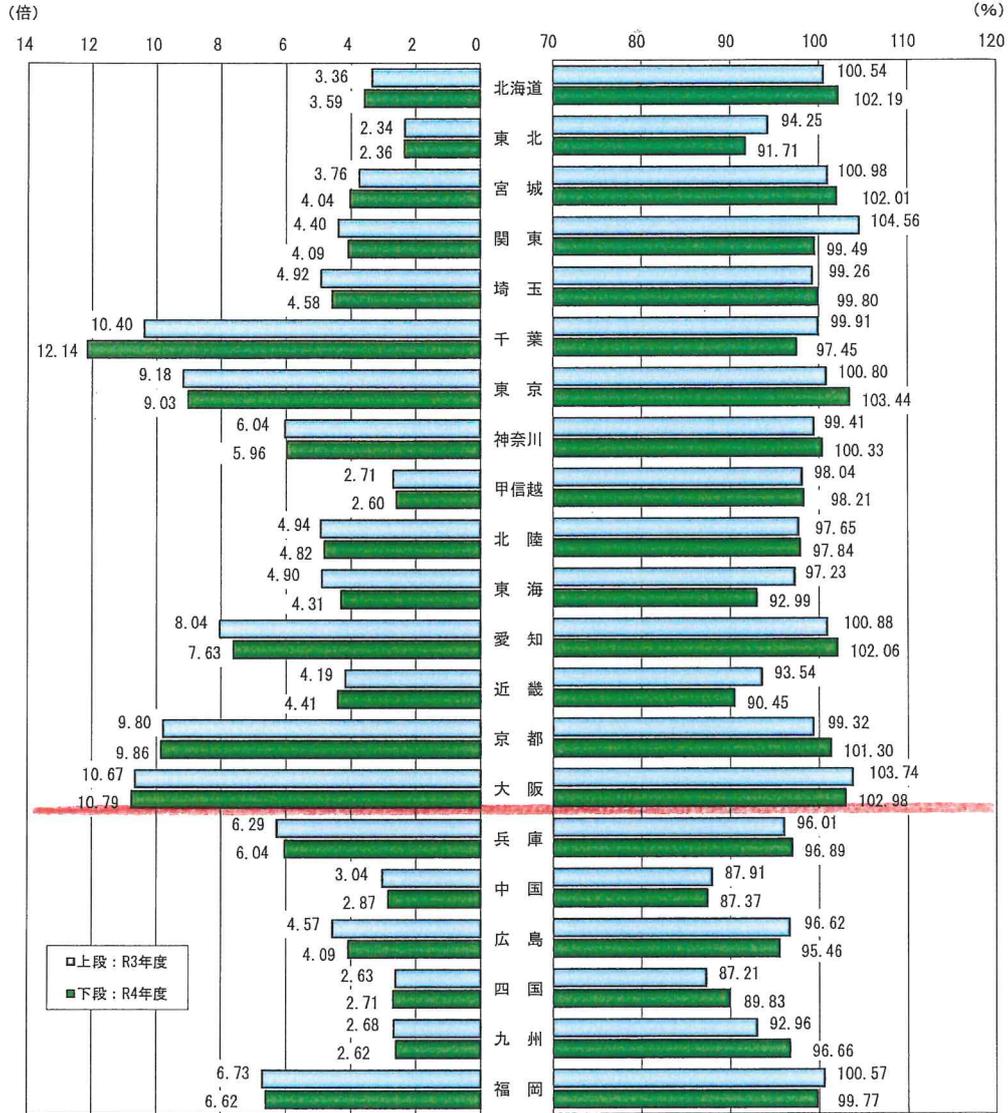
2. 地域別の動向 (大学・学校別)

全国を21の地域に区分した。集計は学校所在地ごととした。

地域区分	年度	集計 学校数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
北海道	R3	24	10,978	36,844	36,025	23,447	11,037	3.36	65.09	47.07	100.54
	R4	24	11,158	40,092	39,128	25,803	11,402	3.59	65.95	44.19	102.19
	増減	0	180	3,248	3,103	2,356	365	0.23	0.86	△ 2.88	1.65
東北 (宮城を除く)	R3	22	5,077	11,903	11,594	7,840	4,785	2.34	67.62	61.03	94.25
	R4	22	4,992	11,760	11,465	7,615	4,578	2.36	66.42	60.12	91.71
	増減	0	△ 85	△ 143	△ 129	△ 225	△ 207	0.02	△ 1.20	△ 0.91	△ 2.54
宮城	R3	11	8,399	31,541	30,659	18,024	8,481	3.76	58.79	47.05	100.98
	R4	11	8,389	33,887	33,114	19,601	8,558	4.04	59.19	43.66	102.01
	増減	0	△ 10	2,346	2,455	1,577	77	0.28	0.40	△ 3.39	1.03
関東 (埼玉、千葉、東京、 神奈川を除く)	R3	24	11,518	50,644	48,239	22,266	12,043	4.40	46.16	54.09	104.56
	R4	25	11,638	47,582	45,506	21,727	11,579	4.09	47.75	53.29	99.49
	増減	1	120	△ 3,062	△ 2,733	△ 539	△ 464	△ 0.31	1.59	△ 0.80	△ 5.07
埼玉	R3	26	17,522	86,273	82,092	41,937	17,393	4.92	51.09	41.47	99.26
	R4	26	17,612	80,697	76,933	44,746	17,576	4.58	58.16	39.28	99.80
	増減	0	90	△ 5,576	△ 5,159	2,809	183	△ 0.34	7.07	△ 2.19	0.54
千葉	R3	25	14,654	152,367	146,554	49,417	14,641	10.40	33.72	29.63	99.91
	R4	25	14,644	177,721	169,690	61,943	14,271	12.14	36.50	23.04	97.45
	増減	0	△ 10	25,354	23,136	12,526	△ 370	1.74	2.78	△ 6.59	△ 2.46
東京	R3	117	182,291	1,673,433	1,590,226	537,641	183,749	9.18	33.81	34.18	100.80
	R4	117	183,111	1,652,726	1,564,947	566,376	189,405	9.03	36.19	33.44	103.44
	増減	0	820	△ 20,707	△ 25,279	28,735	5,656	△ 0.15	2.38	△ 0.74	2.64
神奈川	R3	25	22,619	136,595	129,755	61,388	22,485	6.04	47.31	36.63	99.41
	R4	25	22,824	136,026	128,819	65,036	22,899	5.96	50.49	35.21	100.33
	増減	0	205	△ 569	△ 936	3,648	414	△ 0.08	3.18	△ 1.42	0.92
甲信越	R3	23	5,774	15,651	15,232	10,287	5,661	2.71	67.54	55.03	98.04
	R4	23	5,759	14,975	14,632	10,096	5,656	2.60	69.00	56.02	98.21
	増減	0	△ 15	△ 676	△ 600	△ 191	△ 5	△ 0.11	1.46	0.99	0.17
北陸	R3	13	5,496	27,147	26,108	14,913	5,367	4.94	57.12	35.99	97.65
	R4	13	5,549	26,755	25,745	15,467	5,429	4.82	60.08	35.10	97.84
	増減	0	53	△ 392	△ 363	554	62	△ 0.12	2.96	△ 0.89	0.19
東海 (愛知を除く)	R3	21	8,850	43,389	42,244	23,181	8,605	4.90	54.87	37.12	97.23
	R4	21	8,940	38,545	37,444	22,511	8,313	4.31	60.12	36.93	92.99
	増減	0	90	△ 4,844	△ 4,800	△ 670	△ 292	△ 0.59	5.25	△ 0.19	△ 4.24
愛知	R3	45	36,266	291,684	284,161	129,567	36,586	8.04	45.60	28.24	100.88
	R4	45	36,659	279,783	271,716	130,430	37,416	7.63	48.00	28.69	102.06
	増減	0	393	△ 11,901	△ 12,445	863	830	△ 0.41	2.40	0.45	1.18
近畿 (京都、大阪、兵庫を除く)	R3	15	4,533	18,972	18,382	9,405	4,240	4.19	51.16	45.08	93.54
	R4	15	4,533	20,007	19,329	9,640	4,100	4.41	49.87	42.53	90.45
	増減	0	0	1,035	947	235	△ 140	△ 0.22	△ 1.29	△ 2.55	△ 3.09
京都	R3	26	36,836	360,963	344,304	129,765	36,586	9.80	37.69	28.19	99.32
	R4	26	36,934	364,250	348,114	139,098	37,414	9.86	39.96	26.90	101.30
	増減	0	98	3,287	3,810	9,333	828	0.06	2.27	△ 1.29	1.98
大阪	R3	52	47,894	511,245	485,090	170,256	49,687	10.67	35.10	29.18	103.74
	R4	53	48,515	523,268	495,328	176,780	49,962	10.79	35.69	28.26	102.98
	増減	1	621	12,023	10,238	6,524	275	0.12	0.59	△ 0.92	△ 0.76
兵庫	R3	29	23,323	146,643	139,326	63,955	22,393	6.29	45.90	35.01	96.01
	R4	28	23,523	142,177	134,730	65,986	22,791	6.04	48.98	34.54	96.89
	増減	△ 1	200	△ 4,466	△ 4,596	2,031	398	△ 0.25	3.08	△ 0.47	0.88
中国 (広島を除く)	R3	22	8,880	27,038	26,174	16,727	7,806	3.04	63.91	46.67	87.91
	R4	21	8,672	24,864	24,182	16,830	7,577	2.87	69.60	45.02	87.37
	増減	△ 1	△ 208	△ 2,174	△ 1,992	103	△ 229	△ 0.17	5.69	△ 1.65	△ 0.54
広島	R3	14	8,948	40,929	40,174	23,370	8,646	4.57	58.17	37.00	96.62
	R4	14	9,013	36,894	36,169	22,773	8,604	4.09	62.96	37.78	95.46
	増減	0	65	△ 4,035	△ 4,005	△ 597	△ 42	△ 0.48	4.79	0.78	△ 1.16
四国	R3	9	4,355	11,461	11,260	8,977	3,798	2.63	79.72	42.31	87.21
	R4	9	4,355	11,796	11,594	9,074	3,912	2.71	78.26	43.11	89.83
	増減	0	0	335	334	97	114	0.08	△ 1.46	0.80	2.62
九州 (福岡を除く)	R3	28	11,905	31,947	31,494	21,060	11,067	2.68	66.87	52.55	92.96
	R4	28	11,925	31,197	30,662	21,208	11,527	2.62	69.17	54.35	96.66
	増減	0	20	△ 750	△ 832	148	460	△ 0.06	2.30	1.80	3.70
福岡	R3	26	19,044	128,191	124,867	54,486	19,152	6.73	43.64	35.15	100.57
	R4	27	19,274	127,507	123,869	55,461	19,230	6.62	44.77	34.67	99.77
	増減	1	230	△ 684	△ 998	975	78	△ 0.11	1.13	△ 0.48	△ 0.80
全国計	R3	597	495,162	3,834,860	3,663,960	1,437,909	494,208	7.74	39.24	34.37	99.81
	R4	598	498,019	3,822,509	3,643,116	1,508,201	502,199	7.68	41.40	33.30	100.84
	増減	1	2,857	△ 12,351	△ 20,844	70,292	7,991	△ 0.06	2.16	△ 1.07	1.03

地域別の志願倍率（大学・学校別）

地域別の入学定員充足率（大学・学校別）



地域区分

北海道	北海道
東北	青森・岩手・秋田・山形・福島
宮城	宮城
関東	茨城・栃木・群馬
埼玉	埼玉
千葉	千葉
東京	東京
神奈川	神奈川
甲信越	新潟・山梨・長野
北陸	富山・石川・福井

東海	岐阜・静岡・三重
愛知	愛知
近畿	滋賀・奈良・和歌山
京都	京都
大阪	大阪
兵庫	兵庫
中国	鳥取・島根・岡山・山口
広島	広島
四国	徳島・香川・愛媛・高知
九州	佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
福岡	福岡

<令和4(2022)年度 私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団）抜粋>

【資料2】 私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向（令和4(2022)年度
私立大学・短期大学等入学志願動向）

5. 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）

学部名称の表記は、集計数3以上の学部とし、集計数2以下は「その他」とした。

系 統 区 分 学 部 名	集計学部数			入学定員(人)			志願者数(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)		
	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減
医学	31	31	0	4,091	4,125	34	98,563	97,957	△ 606	4,099	4,146	47	100.20	100.51	0.31
歯学	17	17	0	2,015	2,015	0	7,564	7,773	209	1,528	1,534	6	75.83	76.13	0.30
薬学	60	60	0	11,501	11,391	△ 110	73,580	76,635	3,055	10,191	10,798	607	88.61	94.79	6.18
保健系	254	266	12	38,143	39,789	1,646	188,155	184,961	△ 3,194	38,130	39,444	1,314	99.97	99.13	△ 0.84
看護学部	101	107	6	9,203	9,723	520	50,733	51,399	666	9,453	9,894	441	102.72	101.76	△ 0.96
保健医療学部	35	34	△ 1	7,050	6,700	△ 350	31,094	26,850	△ 4,244	7,149	6,623	△ 526	101.40	98.85	△ 2.55
リハビリテーション学部	15	16	1	1,705	1,845	140	6,767	6,811	44	1,711	1,794	83	100.35	97.24	△ 3.11
医療技術学部	8	8	0	1,820	1,820	0	8,163	7,124	△ 1,039	1,887	1,756	△ 131	103.68	96.48	△ 7.20
医療技術学部	5	7	2	1,735	2,185	450	10,575	12,788	2,213	1,586	2,196	610	91.41	100.50	9.09
医療科学部	5	7	2	854	1,180	326	4,817	5,540	723	876	1,147	271	102.58	97.20	△ 5.38
栄養学部	5	6	1	977	1,257	280	3,395	5,317	1,922	834	1,130	296	85.36	89.90	4.54
医療学部	5	5	0	470	470	0	1,009	901	△ 108	433	437	4	92.13	92.98	0.85
保健科学部	5	4	△ 1	1,070	910	△ 160	5,409	3,382	△ 2,027	1,196	1,016	△ 180	111.78	111.65	△ 0.13
リハビリテーション学部(専門職)	3	4	1	430	510	80	542	602	60	343	448	105	79.77	87.84	8.07
看護福祉学部	3	3	0	600	600	0	2,426	2,446	20	579	563	△ 16	96.50	93.83	△ 2.67
保健福祉学部	3	3	0	715	715	0	1,405	1,537	132	616	618	2	86.15	86.43	0.28
医療福祉学部	3	3	0	716	716	0	1,245	1,000	△ 245	629	524	△ 105	87.85	73.18	△ 14.67
健康医療科学部	3	3	0	590	550	△ 40	3,750	3,042	△ 708	581	570	△ 11	98.47	103.64	5.17
看護栄養学部	3	3	0	455	455	0	1,575	1,372	△ 203	490	489	△ 1	107.69	107.47	△ 0.22
保健看護学部	3	3	0	330	340	10	2,232	1,977	△ 255	360	368	8	109.09	108.24	△ 0.85
ヒューマンケア学部	3	3	0	657	657	0	4,826	5,527	701	643	680	37	97.87	103.50	5.63
その他	46	47	1	8,766	9,156	390	48,192	47,346	△ 846	8,764	9,191	427	99.98	100.38	0.40
理・工学系	162	166	4	62,626	62,294	△ 332	751,179	777,971	26,792	63,192	65,001	1,809	100.90	104.35	3.45
工学部	51	51	0	22,649	21,834	△ 815	238,695	243,538	4,843	23,120	22,887	△ 233	102.08	104.82	2.74
理工学部	29	29	0	18,040	17,870	△ 170	253,201	252,100	△ 1,101	18,055	18,621	566	100.08	104.20	4.12
理学部	14	14	0	4,534	4,364	△ 170	46,650	48,211	1,561	4,361	4,415	54	96.18	101.17	4.99
建築学部	9	11	2	1,787	2,137	350	28,424	32,233	3,809	1,883	2,389	506	105.37	111.79	6.42
生命科学部	8	9	1	1,867	2,032	165	23,380	25,634	2,254	1,890	2,091	201	101.23	102.90	1.67
情報科学部	4	4	0	1,090	1,100	10	29,130	35,040	5,910	1,237	1,165	△ 72	113.49	105.91	△ 7.58
デザイン工学部	4	4	0	1,089	1,089	0	15,550	16,431	881	1,100	1,118	18	101.01	102.66	1.65
工科学部(専門職)	3	3	0	480	480	0	1,179	1,109	△ 70	508	553	45	105.83	115.21	9.38
その他	40	41	1	11,090	11,388	298	114,970	123,675	8,705	11,038	11,762	724	99.53	103.28	3.75
農学系	25	25	0	9,042	8,875	△ 167	78,039	79,742	1,703	8,717	9,110	393	96.41	102.65	6.24
農学部	10	10	0	3,661	3,661	0	45,327	46,938	1,611	3,472	3,727	255	94.84	101.80	6.96
獣医学部	4	4	0	970	970	0	10,635	10,936	301	961	1,033	72	99.07	106.49	7.42
その他	11	11	0	4,411	4,244	△ 167	22,077	21,868	△ 209	4,284	4,350	66	97.12	102.50	5.38
人文学系	245	250	5	68,184	68,634	450	520,901	498,562	△ 22,339	67,710	67,898	188	99.30	98.93	△ 0.37
文学部	83	84	1	32,768	32,856	88	271,768	270,070	△ 1,698	32,676	33,262	586	99.72	101.24	1.52
人文学部	31	32	1	6,470	6,605	135	41,377	37,552	△ 3,825	6,473	6,454	△ 19	100.05	97.71	△ 2.34
外国語学部	28	27	△ 1	9,706	9,588	△ 118	73,790	59,645	△ 14,145	9,646	9,455	△ 191	99.38	98.61	△ 0.77
心理学部	22	25	3	3,053	3,528	475	24,990	28,259	3,269	3,146	3,740	594	103.05	106.01	2.96
国際文化学部	11	11	0	1,990	1,950	△ 40	11,892	11,883	△ 9	1,827	1,720	△ 107	91.81	88.21	△ 3.60
人間学部	11	11	0	2,270	2,260	△ 10	6,946	6,217	△ 729	2,144	1,894	△ 250	94.45	83.81	△ 10.64
神学部	6	6	0	181	181	0	728	800	72	164	174	10	90.61	96.13	5.52
仏教学部	5	5	0	487	487	0	1,803	1,643	△ 160	458	458	0	94.05	94.05	0.00
人間関係学部	5	5	0	1,045	1,045	0	3,103	3,151	48	1,142	1,009	△ 133	109.28	96.56	△ 12.72
グローバル・コミュニケーション学部(群)	5	5	0	888	888	0	5,978	4,943	△ 1,035	788	758	△ 30	88.74	85.36	△ 3.38
文芸学部	3	3	0	1,240	1,240	0	19,560	19,655	95	1,343	1,334	△ 9	108.31	107.58	△ 0.73
現代文化学部	3	3	0	445	425	△ 20	1,111	892	△ 219	382	346	△ 36	85.84	81.41	△ 4.43
その他	32	33	1	7,641	7,581	△ 60	57,855	53,852	△ 4,003	7,521	7,284	△ 237	98.43	96.21	△ 2.22
社会科学系	526	528	2	171,506	171,944	438	1,379,159	1,379,719	560	174,183	176,636	2,453	101.56	102.73	1.17
経済学部	91	90	△ 1	39,013	38,782	△ 231	350,241	342,042	△ 8,199	39,567	40,180	613	101.42	103.60	2.18
経営学部	89	88	△ 1	27,966	27,806	△ 160	252,916	248,941	△ 3,975	28,882	29,136	254	103.28	104.78	1.50
法学部	79	79	0	30,870	30,800	△ 70	243,558	258,672	15,114	31,638	32,380	742	102.49	105.13	2.64
商学部	29	29	0	14,341	14,421	80	117,896	110,369	△ 7,527	14,314	15,122	808	99.81	104.86	5.05
社会学部	26	26	0	8,580	8,564	△ 16	89,572	87,838	△ 1,734	8,652	8,787	135	100.84	102.60	1.76
社会福祉学部	21	21	0	3,649	3,649	0	10,181	9,332	△ 849	3,548	3,132	△ 416	97.23	85.83	△ 11.40
人間社会学部	13	13	0	3,570	3,570	0	14,837	13,227	△ 1,610	3,522	3,251	△ 271	98.66	91.06	△ 7.60
現代社会学部	13	13	0	2,931	2,931	0	21,295	19,933	△ 1,362	2,983	2,979	△ 4	101.77	101.64	△ 0.13
総合政策学部	12	12	0	2,840	2,840	0	21,761	20,157	△ 1,604	2,839	3,048	209	99.96	107.32	7.36
経営情報学部	10	10	0	2,122	2,122	0	7,510	5,873	△ 1,637	2,283	2,133	△ 150	107.59	100.52	△ 7.07

※次のページに続く

系 統 区 分 学 部 名	集計学部数			入学定員(人)			志願者数(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)		
	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減
情報学部	9	10	1	2,040	2,410	370	21,409	37,270	15,861	2,234	2,689	455	109.51	111.58	2.07
経済経営学部	9	10	1	1,985	2,275	290	7,815	6,082	△ 1,733	2,076	2,055	△ 21	104.58	90.33	△ 14.25
観光学部	6	6	0	1,060	1,060	0	6,832	6,169	△ 663	993	933	△ 60	93.68	88.02	△ 5.66
政治経済学部	5	5	0	2,810	2,730	△ 80	26,488	25,581	△ 907	2,784	2,773	△ 11	99.07	101.58	2.51
現代ビジネス学部	5	5	0	975	995	20	2,160	2,000	△ 160	1,010	910	△ 100	103.59	91.46	△ 12.13
人間福祉学部	4	4	0	630	630	0	2,157	2,292	135	585	614	29	92.86	97.46	4.60
国際経営学部	4	4	0	1,260	1,260	0	6,801	6,217	△ 584	989	1,125	136	78.49	89.29	10.80
総合経営学部	4	4	0	920	920	0	2,591	1,990	△ 601	1,085	1,084	△ 11	119.02	117.83	△ 1.19
国際観光学部	3	4	1	631	711	80	4,244	3,948	△ 296	595	608	13	94.29	85.51	△ 8.78
環境情報学部	3	3	0	675	675	0	5,069	4,233	△ 836	679	682	3	100.59	101.04	0.45
経営経済学部	3	3	0	730	730	0	2,048	1,483	△ 565	758	646	△ 112	103.84	88.49	△ 15.35
その他	88	89	1	21,908	22,063	155	161,778	166,070	4,292	22,157	22,369	212	101.14	101.39	0.25
家政学	83	82	△ 1	16,133	15,758	△ 375	60,407	57,535	△ 2,872	15,183	15,015	△ 168	94.11	95.28	1.17
家政学部	15	15	0	4,365	4,110	△ 255	18,864	16,655	△ 2,209	4,433	4,279	△ 154	101.56	104.11	2.55
健康栄養学部(群)	12	12	0	1,190	1,190	0	2,885	2,627	△ 258	982	1,027	45	82.52	86.30	3.78
生活科学部	9	9	0	1,847	1,847	0	7,695	7,121	△ 574	1,993	1,930	△ 63	107.90	104.49	△ 3.41
人間生活学部	8	8	0	1,820	1,790	△ 30	3,503	3,133	△ 370	1,508	1,466	△ 42	82.86	83.02	0.16
人間健康学部	8	7	△ 1	1,275	1,225	△ 50	6,624	6,720	96	1,258	1,264	6	98.67	103.18	4.51
栄養科学部	3	3	0	560	560	0	1,677	1,822	145	586	574	△ 12	104.64	102.50	△ 2.14
現代生活学部	3	3	0	640	640	0	1,314	1,007	△ 307	512	445	△ 67	80.00	69.53	△ 10.47
その他	25	25	0	4,436	4,396	△ 40	17,845	18,450	605	3,911	4,010	99	88.17	91.22	3.05
教育学	104	108	4	17,832	18,165	333	100,983	97,469	△ 3,514	16,834	16,950	116	94.40	93.31	△ 1.09
教育学部	52	57	5	9,936	10,974	1,038	76,423	76,249	△ 174	9,922	10,561	639	99.86	96.24	△ 3.62
子ども(こども)教育学部	9	10	1	798	878	80	1,289	1,192	△ 97	632	619	△ 13	79.20	70.50	△ 8.70
子ども学部	7	7	0	875	875	0	1,977	1,527	△ 450	815	778	△ 37	93.14	88.91	△ 4.23
人間教育学部	4	4	0	600	600	0	2,177	1,765	△ 412	449	436	△ 13	74.83	72.67	△ 2.16
人間発達学部	4	3	△ 1	420	320	△ 100	685	569	△ 116	345	270	△ 75	82.14	84.38	2.24
発達教育学部	4	3	△ 1	925	630	△ 295	4,290	3,727	△ 563	780	632	△ 148	84.32	100.32	16.00
こども学部	3	3	0	265	265	0	341	300	△ 41	223	235	12	84.15	88.68	4.53
その他	21	21	0	4,013	3,623	△ 390	13,801	12,140	△ 1,661	3,668	3,419	△ 249	91.40	94.37	2.97
体育学	11	11	0	5,040	5,190	150	12,680	12,619	△ 61	5,106	5,409	303	101.31	104.22	2.91
芸術系	56	56	0	14,069	14,083	14	53,218	56,788	3,570	14,742	14,858	116	104.78	105.50	0.72
音楽学部	19	19	0	2,991	2,955	△ 36	4,029	3,932	△ 97	2,819	2,770	△ 49	94.25	93.74	△ 0.51
芸術学部	18	18	0	6,557	6,587	30	24,596	27,492	2,896	7,219	7,300	81	110.10	110.82	0.72
造形学部	6	6	0	1,948	1,958	10	11,010	11,920	910	2,071	2,109	38	106.31	107.71	1.40
美術学部	5	5	0	1,430	1,430	0	7,908	8,738	830	1,479	1,510	31	103.43	105.59	2.16
デザイン学部	4	4	0	696	706	10	4,120	3,225	△ 895	727	746	19	104.45	105.67	1.22
その他	4	4	0	447	447	0	1,555	1,481	△ 74	427	423	△ 4	95.53	94.63	△ 0.90
その他	304	308	4	74,980	75,756	776	510,432	494,778	△ 15,654	74,593	75,400	807	99.48	99.53	0.05
人間科学部	30	30	0	7,378	7,384	6	44,391	40,849	△ 3,542	7,503	7,258	△ 245	101.69	98.29	△ 3.40
国際学部	23	26	3	5,259	5,859	600	39,219	42,832	3,613	4,945	5,662	717	94.03	96.64	2.61
健康科学部	20	20	0	4,391	4,371	△ 20	24,616	25,754	1,138	4,306	4,246	△ 60	98.06	97.14	△ 0.92
国際教養学部	13	13	0	2,464	2,234	△ 230	15,495	13,418	△ 2,077	2,273	2,097	△ 176	92.25	93.87	1.62
スポーツ科学部	9	9	0	2,555	2,555	0	11,735	10,786	△ 949	2,644	2,762	118	103.48	108.10	4.62
国際コミュニケーション学部	7	7	0	1,231	1,246	15	8,109	7,781	△ 328	1,191	1,108	△ 83	96.75	88.92	△ 7.83
学芸学部	7	7	0	2,235	2,235	0	8,530	7,943	△ 587	2,233	2,169	△ 64	99.91	97.05	△ 2.86
国際関係学部	7	7	0	2,216	2,216	0	12,675	12,552	△ 123	2,142	2,032	△ 110	96.66	91.70	△ 4.96
スポーツ健康科学部	7	7	0	1,766	1,766	0	9,015	9,627	612	1,760	1,806	46	99.66	102.27	2.61
健康福祉学部	6	6	0	880	880	0	2,352	2,072	△ 280	796	783	△ 13	90.45	88.98	△ 1.47
総合情報学部	6	5	△ 1	1,685	1,585	△ 100	13,207	12,691	△ 516	1,786	1,785	△ 1	105.99	112.62	6.63
人間文化学部	5	5	0	725	725	0	2,605	2,173	△ 432	649	638	△ 11	89.52	88.00	△ 1.52
スポーツ健康学部	4	4	0	610	610	0	4,282	4,446	164	594	630	36	97.38	103.28	5.90
先進工学部	4	4	0	1,365	1,405	40	30,158	34,530	4,372	1,405	1,531	126	102.93	108.97	6.04
情報理工学部	3	4	1	835	1,145	310	12,739	15,546	2,807	852	1,229	377	102.04	107.34	5.30
教養学部	3	3	0	1,390	1,250	△ 140	6,089	6,177	88	1,401	1,278	△ 123	100.79	102.24	1.45
メディア学部	3	3	0	790	790	0	4,994	4,589	△ 405	843	865	22	106.71	109.49	2.78
情報メディア学部	3	3	0	370	370	0	1,012	971	△ 41	414	409	△ 5	111.89	110.54	△ 1.35
現代人間学部	3	3	0	595	595	0	2,007	1,346	△ 661	524	402	△ 122	88.07	67.56	△ 20.51
現代教養学部	3	3	0	1,480	1,480	0	9,477	10,954	1,477	1,538	1,653	115	103.92	111.69	7.77
危機管理学部	3	3	0	660	660	0	2,959	2,782	△ 177	685	530	△ 155	103.79	80.30	△ 23.49
その他	135	136	1	34,100	34,395	295	244,766	224,959	△ 19,807	34,109	34,527	418	100.03	100.38	0.35
合 計	1,078	1,908	30	495,162	498,019	2,857	3,834,860	3,822,509	△ 12,351	494,208	502,199	7,991	99.81	100.84	1.03

＜令和 4(2022)年度 私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団）抜粋＞

1 (書類等の題名)

【資料3】 令和4(2022)年度 近畿圏私立大学 グローバルビジネス学科
同系統・隣接分野学部学科 入学定員・入試結果一覧

2 (出典)

近畿圏8大学のホームページの公開データより

3 (引用範囲)

学部名・学科名・入学定員・入学者数・定員充足率・志願者・志願者倍率・
受験者・合格者

4 (その他の説明)

国際系統、経営・商学系統の学部学科について一覧表作成

1 (書類等の題名)

【資料4】 近畿圏私立大学 グローバルビジネス学科 同系統・隣接分野学部学科 納付金一覧

2 (出典)

近畿圏8大学のホームページの公開データより

3 (引用範囲)

学部名・学科名・対象入学生・納付金(入学金・授業料・教育充実費・施設充実費等・実習費)

4 (その他の説明)

学部名・学科名・対象入学生・納付金(1年次・2年次以降別、入学金・授業料・教育充実費・施設充実費等・実習費・計)の各項目で一覧表作成

【資料5】 大和大学「グローバルビジネス学科（仮称）」設置に係る学生確保
の見通し調査報告書

大和大学
政治経済学部「グローバルビジネス学科（仮称）」
設置に係る学生確保の見通し調査
（設置構想についての高校生アンケート調査）
報告書

2023（令和5）年3月
株式会社高等教育総合研究所

大和大学
政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」
設置に係る学生確保の見直し調査
(設置構想についての高校生アンケート調査)

報告書 目次

1. 高校生アンケート調査 実施概要	3
2. 高校生アンケート調査 集計結果	4
3. 高校生アンケート調査 集計結果ポイント	7
(添付資料)	11
高校生アンケート調査用紙(紙方式)	12
政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」概要(紙方式)	14
高校生アンケート調査回答画面(Web方式)	16

1. 高校生アンケート調査 実施概要

調査対象	大和大学が2024(令和6)年度に設置構想中の政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」への入学が見込まれる大阪府の高校を中心に、大和大学への出願実績がある近畿地方の高校に、高校2年生(令和4年度時点)を対象とした高校生アンケート調査の実施を依頼し、47校から実施協力を得た。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答者の基本情報(性別、居住地) ● 回答者の希望進路、大和大学政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」と特色への興味 ● 大和大学政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」への受験・入学意向 他 全7問ですべて選択肢式。
調査時期	令和5(2023)年1月～3月
調査方法	高校側の希望に基づき、紙方式・WEB方式のいずれかでアンケート調査を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ● 紙方式の場合、アンケート用紙・政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」リーフレットを必要部数送付。ホームルームで配付の上、その場で回答し回収いただいた。 ● WEB方式の場合、担当教員のメールアドレスにアンケート調査サイトURLおよびアクセス用QRコードを送付。自校対象生徒のタブレット端末等に配信の上、原則その場で回答し送信するよう促していただいた。
回答件数	有効回答数4,796人

都道府県および設置者別

アンケート実施高校数

都道府県	公立	私立	総計	構成比
滋賀県	1	0	1	2.1%
京都府	0	4	4	8.5%
大阪府	12	17	29	61.7%
兵庫県	6	2	8	17.0%
奈良県	2	2	4	8.5%
和歌山県	0	1	1	2.1%
合計	21	26	47	100.0%

高校所在地および設置者別

アンケート回答人数

都道府県	公立	私立	総計	構成比
滋賀県	223	0	223	4.6%
京都府	0	271	271	5.7%
大阪府	1,225	2,084	3,309	69.0%
兵庫県	337	195	532	11.1%
奈良県	190	134	324	6.8%
和歌山県	0	137	137	2.9%
合計	1,975	2,821	4,796	100.0%

2. 高校生アンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるものにマーク)

選択肢		回答数	構成比(%)
1	男性	2,028	42.3%
2	女性	2,748	57.3%
	無回答	20	0.4%
合計		4,796	100.0%

問2 あなたがお住まいの県・府をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比(%)
1	大阪府	3,261	68.0%
2	京都府	261	5.4%
3	兵庫県	551	11.5%
4	奈良県	351	7.3%
5	滋賀県	235	4.9%
6	和歌山県	120	2.5%
7	その他	4	0.1%
	無回答	13	0.3%
合計		4,796	100.0%

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。(現時点で最もあてはまるもの1つにマーク)

選択肢		回答数	構成比(%)
1	進学(大学)	3,846	80.2%
2	進学(短大・専門学校など)	578	12.1%
4	就職	121	2.5%
5	現時点では未定	228	4.8%
	無回答	23	0.5%
合計		4,796	100.0%

問4以降は別紙・大和大学政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」概要を確認の上、回答を求めた。

問4 大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」には次のような特色(魅力)があります。あなたが興味のあるものについてお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

	選択肢	回答数	回答率(%)
1	ビジネススキル・アウトプット力を養う超実践型カリキュラム	1,192	24.9%
2	英語力を磨き上げる独自の英語教育を展開	1,360	28.4%
3	DX時代のビジネスに必須の情報ICT運用能力を身につける充実の学び	574	12.0%
4	多彩な海外研修プログラムで、グローバル視野を育てる	921	19.2%
5	起業家精神(アントレプレナーシップ)を磨く	435	9.1%
6	MBA、国際資格取得等のさらなる高みを目指す特別プログラム	491	10.2%
7	上記にあてはまるものはない	1,875	39.1%

※複数回答の結果。回答率=各回答数÷回答対象者(4,796人)である。

※「(特にない場合)あてはまるものはない。」を選択し、上記1~6の項目を選択の場合、1~6の回答は無効としている。

問5 あなたは大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」を受験したいと思いませんか。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	受験したい	457	9.5%
2	受験しない	4,184	87.2%
	無回答	155	3.2%
合計		4,796	100.0%

問6は問5で「受験したい」とした457人に回答を求めた。

問6 あなたは大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」に合格した場合、入学したいと思いませんか。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択肢	回答数	構成比(%)
1	合格した場合、入学したい	167	36.5%
2	合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい	285	62.4%
	無回答	5	1.1%
合計		457	100.0%

【クロス集計結果】

問5・6結果について、問3で「進学(大学)」を選択し、かつ問4で1～6の特色を1つ以上選択かつ7を未選択の回答者を抽出。
 (「上記にあてはまるものはない」としながら他の選択肢を選択の場合は「あてはまるものはない」のみ有効とした)

選択肢	回答数
問5で「受験したい」	361
問6で「合格した場合、入学したい」	125
問6で「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」	235

問7は問5で「受験しない」とした4,184人に回答を求めた。

問7 あなたが大和大学 政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」を「受験しない」とした理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

	選択肢	回答数	回答率(%)
1	大和大学 政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから	182	4.3%
2	興味・関心のある学科ではないから	2,024	48.4%
3	国公立大学への進学を希望しているから	387	9.2%
4	他の私立大学への進学を希望しているから	1,369	32.7%
5	短期大学・専門学校への進学を希望しているから	363	8.7%
6	就職を希望しているから	93	2.2%
7	進路は未定だから	458	10.9%
8	通学に時間がかかりそうだから	230	5.5%
9	学費が高いから	217	5.2%
10	その他	41	1.0%

※複数回答の結果。回答率=各回答数÷回答対象者(人)である。

3. 高校生アンケート調査 集計結果ポイント

①回答を得た高校生の性別・居住地・高校卒業後の希望進路

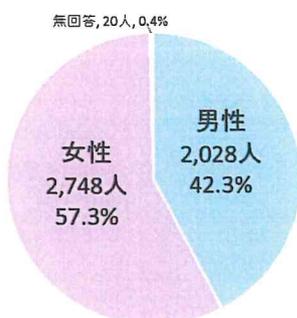
Point 1

大阪を中心とした近畿地方の高校2年生4,796人がアンケートに回答。
高校卒業後の希望進路は「進学(大学)」が80%を占める。

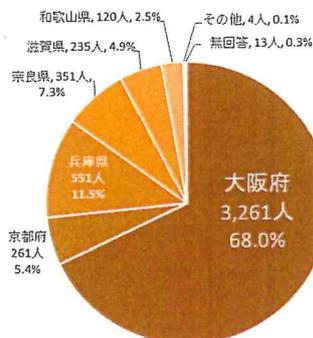
大和大学が設置構想中の政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」の学生確保の見直しを検証するため、高校生アンケート調査を実施し、4,796人から回答を得た。

回答者の性別は「女性」2,748人(57.3%)、「男性」2,028人(42.3%)であった(グラフ1)。居住地別では大和大学の所在地である「大阪府」3,261人(68.0%)が最も多く、次いで隣接する「兵庫県」551人(11.5%)、「奈良県」351人(7.3%)、「京都府」261人(5.4%)、「和歌山県」120人(2.5%)や、「滋賀県」235人(4.9%)であった(グラフ2)。高校卒業後の希望進路は「進学(大学)」が最も多く3,846人(80.2%)であった(グラフ3)。

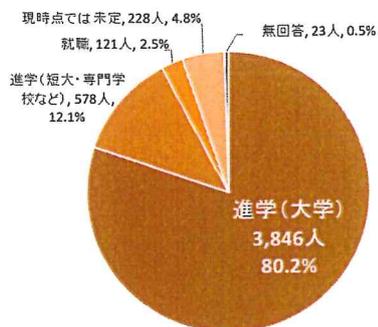
グラフ1: 回答者の性別(問1結果より)



グラフ2: 回答者の居住地(問2結果より)



グラフ3: 回答者の希望進路(問3結果より)



② 高校生が興味を示す大和大学「グローバルビジネス学科(仮称)」の特色

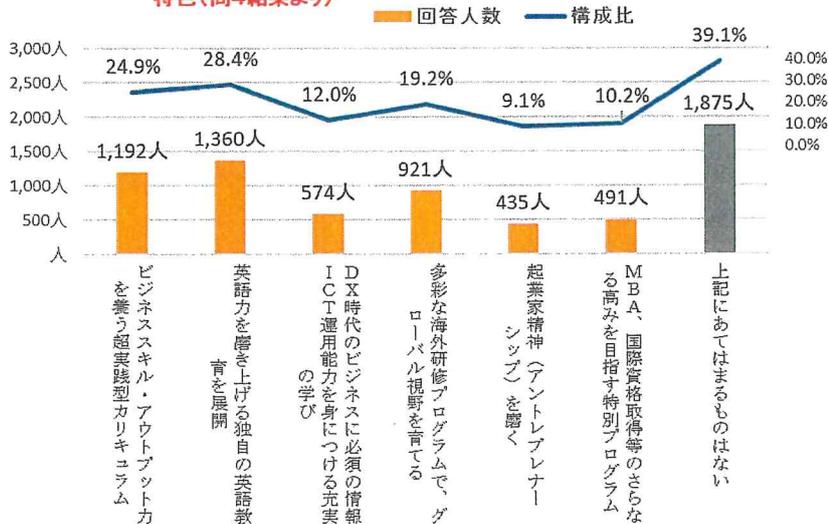
Point 2

大和大学「グローバルビジネス学科(仮称)」の特色として「英語力を磨き上げる独自の英語教育を展開」に3割近くが興味で最多。

大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」概要を提示した上で、興味のある特色について回答を求めた。結果、興味のある特色として最も回答数が多かったのは「英語力を磨き上げる独自の英語教育を展開」で全体の3割近い1,360人(28.4%)が挙げた。次いで「ビジネススキル・アウトプット力を養う超実践型カリキュラム」が1,192人(24.9%)、「多彩な海外研修プログラムで、グローバル視野を育てる」921人(19.2%)であった(グラフ4/複数回答の結果)。

※「上記にあてはまるものはない」を選択している場合は、他の項目を選択していても無効扱い(選択した特色はカウントしない)とした。

グラフ4: 回答者が興味のある大和大学「グローバルビジネス学科(仮称)」特色(問4結果より)

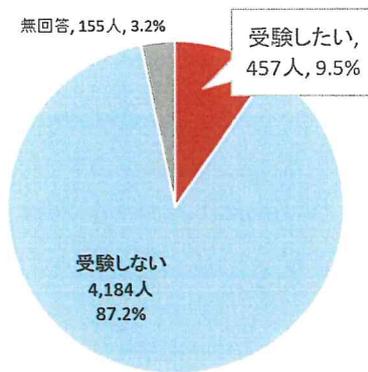


③大和大学「グローバルビジネス学科(仮称)」に対する受験・入学意向1

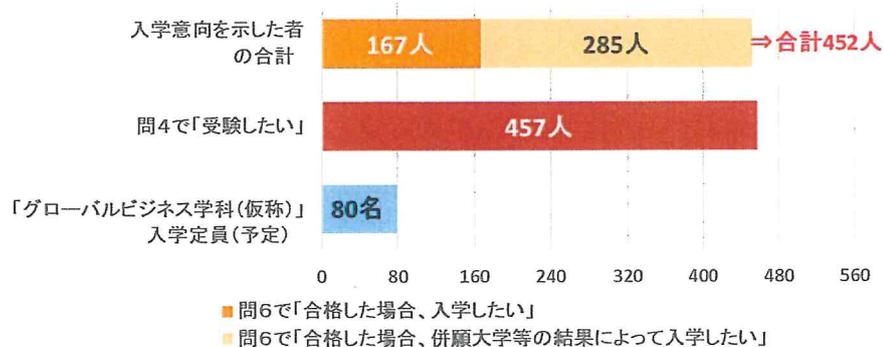
Point 3 大和大学「グローバルビジネス学科(仮称)」に対し入学定員80名の5.7倍となる457人が受験意向を示し、その上で167人が強く入学を希望。

大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」概要を提示した上で、受験・入学意向について回答を求めた。結果、「グローバルビジネス学科(仮称)」を「受験したい」としたのは457人(9.5%)で、「グローバルビジネス学科(仮称)」が予定する入学定員80名の5.7倍の水準であった(グラフ5)。これらの受験意向を示した高校生に対し、合格した場合の入学意向について回答を求めたところ、強い入学意向を持つと考えられる「合格した場合、入学したい」とした回答者は167人で、入学定員の2.1倍に及ぶ水準であった。他にも「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」は285人であった(グラフ6)。

グラフ5: 大和大学「グローバルビジネス学科(仮称)」
受験意向(問5結果より)



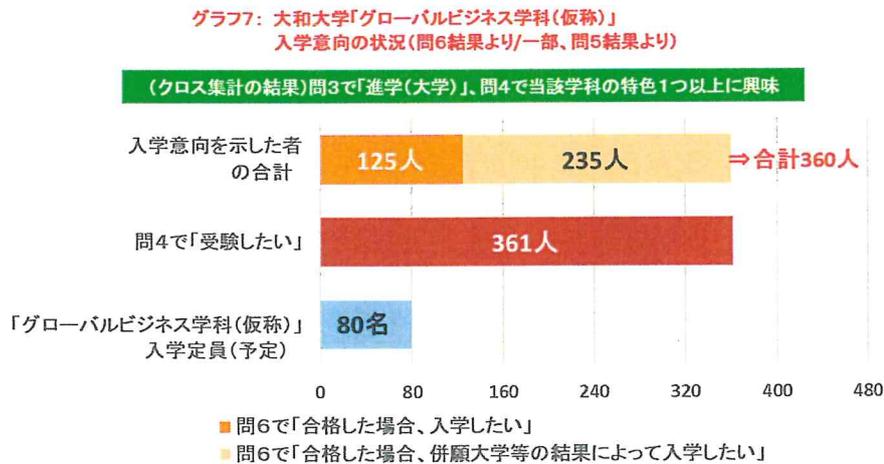
グラフ6: 大和大学「グローバルビジネス学科(仮称)」
入学意向の状況(問6結果より/一部、問5結果より)



④大和大学「グローバルビジネス学科(仮称)」に対する受験・入学意向2 (クロス集計結果)

Point 4 大和大学「グローバルビジネス学科(仮称)」に対し大学進学、学科への興味を踏まえたクロス集計を行ってもなお361人の受験意向に加え、入学定員80名を上回る125人の入学希望者を確認。

Point 3で示した受験・入学意向の結果についてクロス集計を行い、回答者本人が大学進学意向を示し(問3結果)、さらに「グローバルビジネス学科(仮称)」特色に関心を示した(問4結果)回答者のみ抽出を行った。以上のようなクロス集計の結果、「グローバルビジネス学科(仮称)」を「受験したい」としたのは361人で、依然として入学定員80名の4倍の水準であった。その上で、強い入学意向を持つと考えられる「合格した場合、入学したい」とした回答者は125人おり、入学定員の1.6倍に及ぶ水準であった(グラフ7)。



(添付資料)



大和大学 政治経済学部
「グローバルビジネス学科 (仮称)」

設置構想についての高校生アンケート調査
(対象：2022年度現在、高校2年生の皆さん)

大和大学（大阪府吹田市片山町2-5-1）は2024年度、政治経済学部新たに「グローバルビジネス学科(仮称)」(入学定員80名)を設置構想中です。本学ではこのアンケート調査を通して、2024年度に大学進学時期を迎える現・高校2年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実を図っていきたいと考えています。回答いただいた皆さんから得られた情報は、大和大学政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いたします。
※このアンケート調査は大和大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

- ◎以下の質問について、選択肢から一つ選び、右の記入例を参考に黒の鉛筆又は黒のシャープペンシルでマークをしてください。
◎誤って記入した回答は消しゴムでしっかりと消してください。



問1 あなたの性別をお答えください。（あてはまるものにマーク）

- 男性 女性

問2 あなたがお住まいの県・府をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 大阪府 京都府 兵庫県 奈良県 滋賀県 和歌山県 その他

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。（現時点で最もあてはまるもの1つにマーク）

- 進学（大学） 進学（短大・専門学校など） 就職 現時点では未定

問4以降は別紙・大和大学 政治経済学部「グローバルビジネス学科 (仮称)」概要をご覧ください、お答えください。

問4 大和大学が政治経済学部設置構想中の「グローバルビジネス学科 (仮称)」には次のような特色（魅力）があります。あなたが興味のあるものについてお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- ビジネススキル・アウトプット力を養う超実践型カリキュラム
 英語力を磨き上げる独自の英語教育を展開
 DX時代のビジネスに必須の情報ICT運用能力を身につける充実の学び
 多彩な海外研修プログラムで、グローバル視野を育てる
 起業家精神（アントレプレナーシップ）を磨く
 MBA、国際資格取得等のさらなる高みを目指す特別プログラム
 上記にあてはまるものはない



本アンケート調査用紙に印刷されているQRコードは集計時に使用するものです。個人の特定を目的とするものではありません。



問5 あなたは大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科 (仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 受験したい ⇒ 以下の問6にお答えください。
 受験しない ⇒ 以下の問7にお答えください。

問5で「受験したい」と回答した方は、以下の問6にお答えください。

問6 あなたは大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科 (仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 合格した場合、入学したい
 合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい

問5で「受験しない」と回答した方は、以下の問7にお答えください。

問7 あなたが大和大学 政治経済学部「グローバルビジネス学科 (仮称)」を「受験しない」とした理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

- 大和大学 政治経済学部「グローバルビジネス学科 (仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから
 興味・関心のある学科ではないから 国公立大学への進学を希望しているから
 他の私立大学への進学を希望しているから 短期大学・専門学校への進学を希望しているから
 就職を希望しているから 進路は未定だから
 通学に時間がかかりそうだから 学費が高いから
 その他

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



本アンケート調査用紙に印刷されているQRコードは集計時に使用するものです。個人の特定を目的とするものではありません。

以下は大和大学が2024年4月、政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)の概要」です。


大和大学 伝統より革新——超実践型グローバルビジネス学科誕生！
政治経済学部 **グローバルビジネス学科(仮称)**

大和大学キャンパス

学部学科名称	政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」
学 位	学士(グローバルビジネス)
開設時期	2024年(令和6年)4月(予定)
開設場所	大和大学(大阪府吹田市片山町2-5-1)
修業年限	4年
入学定員	80名(収容定員320名)
養成する人材	社会の国際化に対応し、経営学に関する知識とともに、実践的能力、国際的視野を有する世界を舞台に活躍するグローバルビジネス人材を養成する。



✓ **教育の3つの柱 & カリキュラム特色**

3つの柱	ビジネス実践力	英語・グローバル視野	情報ICT運用力
カリキュラム特色	ビジネススキル科目 これまでの大学にはない超実践型科目を開設。人間力を徹底して磨く。 科目例 リーダーシップ開発、ビジネスプランニング、デザイン思考、問題解決プロセス、ビジネスプレゼンテーション、プロジェクトゼミⅠ・Ⅱ	外国語科目 英語力を磨く。 科目例 Basic EnglishⅠ・Ⅱ、Practical EnglishⅠ・Ⅱ、英会話Ⅰ・Ⅱ、Business EnglishⅠ・Ⅱ	ビジネス情報科目 ビジネスに必須の情報ICT運用力を身につける。 科目例 ビジネス情報のための統計学、プログラミングⅠ・Ⅱ、データサイエンスⅠ・Ⅱ、ITビジネス、ITソリューションズ

✓ **6つの魅力**

- 1 ビジネススキル・アウトプット力を養う超実践型カリキュラム
- 2 英語力を磨き上げる独自の英語教育を展開
- 3 DX時代のビジネスに必須の情報ICT運用能力を身につける充実の学び
- 4 多彩な海外研修プログラムで、グローバル視野を育てる
- 5 起業家精神(アントレプレナーシップ)を磨く
- 6 MBA、国際資格取得等のさらなる高みを目指す特別プログラム

✓ **取得をめざす免許資格**

英語力(TOEIC)、情報ICT能力(MOS、ITパスポート等)、ファイナンシャルプランナー、証券アナリスト、国際会計検定(BATIC)、AIMR認定証券アナリスト(CFA) など

✓ **卒業後、想定される進路**

国際企業、外資企業、商社、一般企業、国家公務員、国際機関職員 など

上記内容は構想中の内容であり、変更となる場合があります。

以下は大和大学が2024年4月、政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)の概要」です。

			単位:円
初年度学費 (他大学を基準)	大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料等 初年度学費
	大和大学 政治経済学部 グローバルビジネス学科(仮称) 大阪府吹田市片山町2-5-1	200,000	1,070,000 1,270,000
	立命館大学 経営学部 国際経営学科 大阪府茨木市岩倉町2-150	200,000	1,101,000 1,301,000
	甲南大学 マネジメント創造学部 マネジメント創造学科 兵庫県西宮市高松町8-33	250,000	972,000 1,222,000

※大和大学 情報学部(仮称)の学費は2024年度予定です。
 ※他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報で、2023年度予定です。
 ※その他、各大学ともその他の費用、諸会費が別途必要な場合があります。

アクセス

大和大学キャンパス図

大志を、まとう。

大和大学

Yamato University

上記内容は構想中の内容であり、変更となる場合があります。

TOP画面

大和大学 政治経済学部 「グローバルビジネス学科(仮称)」 設置構想についての高校生アンケート調査

対象：2022年度現在、高校2年生の皆さん

1ページ目 (全4ページ)

大和大学（大阪府吹田市片山町2-5-1）は2024年度、政治経済学部に新たに「グローバルビジネス学科(仮称)」(入学定員80名)を設置構想中です。本学ではこのアンケート調査を通して、2024年度に大学進学時期を迎える現・高校2年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実に図っていきたく考えています。回答いただいた皆さんから得られた情報は、大和大学政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。※このアンケート調査は大和大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

規約に同意する **必須**

このアンケートは、お一人につき1回までとなります。

同意する

次へ

問1・問2・問3

大和大学 政治経済学部
「グローバルビジネス学科 (仮称)」
設置構想についての高校生アンケート調査

対象：2022年度現在、高校2年生の皆さん

2ページ目 (全4ページ)

問1 あなたの性別をお答えください。 **必須**

あてはまるものにチェック

<input type="radio"/> 男性	<input type="radio"/> 女性
--------------------------	--------------------------

問2 あなたがお住いの県・府をお答えください。 **必須**

あてはまるもの1つにチェック

<input type="radio"/> 大阪府	<input type="radio"/> 京都府
<input type="radio"/> 兵庫県	<input type="radio"/> 奈良県
<input type="radio"/> 滋賀県	<input type="radio"/> 和歌山県
<input type="radio"/> その他	

問3 あなたの高校卒業後の進路希望をお答えください。 **必須**

現時点でもあてはまるもの1つにチェック

<input type="radio"/> 進学 (大学)	<input type="radio"/> 進学 (短大・専門学校など)
<input type="radio"/> 就職	<input type="radio"/> 現時点では未定

次へ

グローバルビジネス学科(仮称)リーフレット
 ※スクロールすることで全ページ閲覧が可能。一番下に「次へ」ボタン。

3ページ目 (全4ページ)

以下の質問には、次の概要をご覧の上お答えください。

以下は大和大学が2024年4月、政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)の概要」です。



大和大学

伝統より革新——超実践型グローバルビジネス学科誕生！

政治経済学部 グローバルビジネス学科(仮称)

大和大学キャンパス



学科/学系名称	政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」
学 位	学士(グローバルビジネス)
開 校 年 度	2024年(令和6年)4月(予定)
開 校 期 間	大和大学(大和校)校舎内(山崎2-5-1)
修 業 年 限	3年
入 学 学 員 数	80名(定員250名中)
養成する人材	社会の国際化に対応し、就職等に際する即戦力として、実務的能力、国際的視野を有する世界を舞台に活躍するグローバルビジネス人材を養成する。

✓ **教育の3つの柱 & カリキュラム特色**

3つの柱	英語・グローバル視野	情報ICT運用力
<p>ビジネス実践力</p> <p>ビジネススキル科目</p> <p>これまでの大学にはない超実践型科目を開設。人間力を伸ばして行く。</p> <p>1-2-3</p> <p>リーダーシップ開発、ビジネスプランニング、マネジメント教育、国際社会実務実務、ビジネスプランニング・コンペティション、マロソン・対決ゼミ1-1</p>	<p>外国語科目</p> <p>英語力を高め、</p> <p>4-1-2</p> <p>Basic English 1-1, Practical English 1-1, 英会話 1-1, Practical English 1-1</p>	<p>ビジネス情報科目</p> <p>ビジネスに必要な情報ICT運用力を身につける。</p> <p>4-1-2</p> <p>ビジネス実務のための簿記学、プログラミング1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 1-5, 1-6, 1-7, 1-8, 1-9, 1-10, 1-11, 1-12, 1-13, 1-14, 1-15, 1-16, 1-17, 1-18, 1-19, 1-20, 1-21, 1-22, 1-23, 1-24, 1-25, 1-26, 1-27, 1-28, 1-29, 1-30, 1-31, 1-32, 1-33, 1-34, 1-35, 1-36, 1-37, 1-38, 1-39, 1-40, 1-41, 1-42, 1-43, 1-44, 1-45, 1-46, 1-47, 1-48, 1-49, 1-50, 1-51, 1-52, 1-53, 1-54, 1-55, 1-56, 1-57, 1-58, 1-59, 1-60, 1-61, 1-62, 1-63, 1-64, 1-65, 1-66, 1-67, 1-68, 1-69, 1-70, 1-71, 1-72, 1-73, 1-74, 1-75, 1-76, 1-77, 1-78, 1-79, 1-80, 1-81, 1-82, 1-83, 1-84, 1-85, 1-86, 1-87, 1-88, 1-89, 1-90, 1-91, 1-92, 1-93, 1-94, 1-95, 1-96, 1-97, 1-98, 1-99, 1-100</p>

✓ **6つの魅力**

- 1 ビジネススキル・アウトプット力を養う超実践型カリキュラム
- 2 英語力を磨き上げる独自の英語教育を展開
- 3 DX時代のビジネスに必須の情報ICT運用能力を身につける実学の学び
- 4 多彩な海外研修プログラムで、グローバル視野を育てる
- 5 起業家精神(アントレプレナーシップ)を磨く
- 6 MBA、国際資格取得等のさらなる高みを目指す特別プログラム

✓ **取得をめざす免許資格**

英語力(TOEIC)、情報ICT能力(MOS、ITパスポート等)、ファイナンシャルプランナー、証券アナリスト、国際会計検定(BATIC)、AIMR認定証券アナリスト(CFA) など

✓ **卒業後、想定される進路**

国際企業、外資企業、商社、一般企業、国家公務員、国際機関職員 など

上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

問4・問5

4ページ目 (全4ページ)

問4 大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」には次のような特色(魅力)があります。あなたが興味のあるものについてお答えください。 **必須**

あてはまるものすべてにチェック

- ビジネススキル・アウトプット力を養う超実践型カリキュラム
- 英語力を磨き上げる独自の英語教育を展開
- DX時代のビジネスに必須の情報ICT運用能力を身につける充実の学び
- 多彩な海外研修プログラムで、グローバル視野を育てる
- 起業家精神(アントレプレナーシップ)を磨く
- MBA、国際資格取得等のさらなる高みを目指す特別プログラム
- 上記にあてはまるものはない

問5 あなたは大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」を受験したいとしますか。 **必須**

あてはまるもの1つにチェック

- 受験したい
- 受験しない

問5にて「受験したい」選択⇒問6

問5 あなたは大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」を受験したいと思いますか。 **必須**

あてはまるもの1つにチェック

受験したい

受験しない

問6 あなたは大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」に合格した場合、入学したいと思います。 **必須**

あてはまるもの1つにチェック

合格した場合、入学したい

合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい

送信

戻る

問5にて「受験しない」選択⇒問7

問5 あなたは大和大学が政治経済学部¹に設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」を受験したいと
思いますか。 **必須**

あてはまるもの1つにチェック

受験したい

受験しない

問7 あなたが大和大学 政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」を
「受験しない」とした理由をお答えください。 **必須**

あてはまるものすべてにチェック

大和大学 政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」に興味・関
心はあるが、詳細を知った上で検討したいから

興味・関心のある学科ではないから

国公立大学への進学を希望しているから

他の私立大学への進学を希望しているから

短期大学・専門学校への進学を希望しているから

就職を希望しているから

進路は未定だから

通学に時間がかかりそうだから

学費が高いから

その他

送信

戻る

1 (書類等の題名)

【資料6】 大学進学者数等の将来推計について

2 (出典)

文部科学省ホームページより

3 (引用範囲)

文部科学省ホームページ「大学への進学者数の将来推計について」(8ページ)

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/042/siryo/_icsFiles/fieldfile/2018/03/08/1401754_03.pdf

【資料7】 都道府県別・人口増減率データ

	平成22年 2010年	平成27年 2015年	令和2年 2020年	増減率 2010～2020	増減率 2015～2020
全国	128,057	127,095	126,146	98.51%	99.25%
北海道	5,506	5,382	5,225	94.89%	97.08%
青森	1,373	1,308	1,238	90.17%	94.65%
岩手	1,330	1,280	1,211	91.02%	94.57%
宮城	2,348	2,334	2,302	98.04%	98.63%
秋田	1,086	1,023	960	88.35%	93.79%
山形	1,169	1,124	1,068	91.36%	95.02%
福島	2,029	1,914	1,833	90.35%	95.78%
茨城	2,970	2,917	2,867	96.53%	98.29%
栃木	2,008	1,974	1,933	96.27%	97.93%
群馬	2,008	1,973	1,939	96.57%	98.28%
埼玉	7,195	7,267	7,345	102.08%	101.07%
千葉	6,216	6,223	6,284	101.10%	100.99%
東京	13,159	13,515	14,048	106.75%	103.94%
神奈川	9,048	9,126	9,237	102.09%	101.22%
新潟	2,374	2,304	2,201	92.72%	95.54%
富山	1,093	1,066	1,035	94.68%	97.07%
石川	1,170	1,154	1,133	96.80%	98.14%
福井	806	787	767	95.14%	97.44%
山梨	863	835	810	93.86%	97.00%
長野	2,152	2,099	2,048	95.17%	97.57%
岐阜	2,081	2,032	1,979	95.09%	97.38%
静岡	3,765	3,700	3,633	96.50%	98.19%
愛知	7,411	7,483	7,542	101.77%	100.79%
三重	1,855	1,816	1,770	95.43%	97.48%
滋賀	1,411	1,413	1,414	100.18%	100.04%
京都	2,636	2,610	2,578	97.80%	98.78%
大阪	8,865	8,839	8,838	99.69%	99.99%
兵庫	5,588	5,535	5,465	97.80%	98.74%
奈良	1,401	1,364	1,324	94.54%	97.10%
和歌山	1,002	964	923	92.07%	95.70%
鳥取	589	573	553	93.96%	96.58%
島根	717	694	671	93.60%	96.70%
岡山	1,945	1,922	1,888	97.09%	98.25%
広島	2,861	2,844	2,800	97.86%	98.44%
山口	1,451	1,405	1,342	92.49%	95.52%
徳島	785	756	720	91.66%	95.18%
香川	996	976	950	95.41%	97.36%
愛媛	1,431	1,385	1,335	93.28%	96.38%
高知	764	728	692	90.51%	94.99%
福岡	5,072	5,102	5,135	101.25%	100.65%
佐賀	850	833	811	95.46%	97.41%
長崎	1,427	1,377	1,312	91.96%	95.30%
熊本	1,817	1,786	1,738	95.67%	97.33%
大分	1,197	1,166	1,124	93.89%	96.39%
宮崎	1,135	1,104	1,070	94.24%	96.88%
鹿児島	1,706	1,648	1,588	93.10%	96.37%
沖縄	1,393	1,434	1,467	105.35%	102.33%

対象都道府県平均

98.87% 99.39%

(総務省統計局データより作成)

【資料8】 令和2(2020)年度 都道府県別・年齢階層別人口データ

	年齢階層別人口 (千人)					若年人口 (総数比率)			
	総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳
全国	125,502	4,389	5,038	5,357	5,580	3.50%	4.01%	4.27%	4.45%
北海道	5,183	156	186	202	218	3.01%	3.59%	3.90%	4.21%
青森県	1,221	36	43	48	52	2.95%	3.52%	3.93%	4.26%
岩手県	1,196	36	44	49	52	3.01%	3.68%	4.10%	4.35%
宮城県	2,290	76	91	97	105	3.32%	3.97%	4.24%	4.59%
秋田県	945	24	30	35	37	2.54%	3.17%	3.70%	3.92%
山形県	1,055	33	40	44	47	3.13%	3.79%	4.17%	4.45%
福島県	1,812	58	69	75	81	3.20%	3.81%	4.14%	4.47%
茨城県	2,852	93	112	123	131	3.26%	3.93%	4.31%	4.59%
栃木県	1,921	64	76	83	88	3.33%	3.96%	4.32%	4.58%
群馬県	1,927	63	74	84	91	3.27%	3.84%	4.36%	4.72%
埼玉県	7,340	256	293	312	326	3.49%	3.99%	4.25%	4.44%
千葉県	6,275	216	247	264	277	3.44%	3.94%	4.21%	4.41%
東京都	14,010	499	533	520	532	3.56%	3.80%	3.71%	3.80%
神奈川県	9,236	321	365	385	404	3.48%	3.95%	4.17%	4.37%
新潟県	2,177	68	83	91	96	3.12%	3.81%	4.18%	4.41%
富山県	1,025	33	38	42	46	3.22%	3.71%	4.10%	4.49%
石川県	1,125	40	46	49	54	3.56%	4.09%	4.36%	4.80%
福井県	760	27	31	35	36	3.55%	4.08%	4.61%	4.74%
山梨県	805	27	31	34	39	3.35%	3.85%	4.22%	4.84%
長野県	2,033	68	81	90	94	3.34%	3.98%	4.43%	4.62%
岐阜県	1,961	66	81	90	95	3.37%	4.13%	4.59%	4.84%
静岡県	3,608	121	147	161	164	3.35%	4.07%	4.46%	4.55%
愛知県	7,517	292	328	345	352	3.88%	4.36%	4.59%	4.68%
三重県	1,756	60	71	78	82	3.42%	4.04%	4.44%	4.67%
滋賀県	1,411	55	65	69	71	3.90%	4.61%	4.89%	5.03%
京都府	2,561	85	98	106	119	3.32%	3.83%	4.14%	4.65%
大阪府	8,806	311	342	365	390	3.53%	3.88%	4.14%	4.43%
兵庫県	5,432	192	223	240	249	3.53%	4.11%	4.42%	4.58%
奈良県	1,315	43	52	57	63	3.27%	3.95%	4.33%	4.79%
和歌山県	914	30	35	38	40	3.28%	3.83%	4.16%	4.38%
鳥取県	549	20	23	24	25	3.64%	4.19%	4.37%	4.55%
島根県	665	24	28	29	30	3.61%	4.21%	4.36%	4.51%
岡山県	1,876	69	78	83	88	3.68%	4.16%	4.42%	4.69%
広島県	2,780	102	119	127	128	3.67%	4.28%	4.57%	4.60%
山口県	1,328	43	51	57	58	3.24%	3.84%	4.29%	4.37%
徳島県	712	22	26	28	30	3.09%	3.65%	3.93%	4.21%
香川県	942	33	39	41	43	3.50%	4.14%	4.35%	4.56%
愛媛県	1,321	43	52	57	58	3.26%	3.94%	4.31%	4.39%
高知県	684	21	25	27	29	3.07%	3.65%	3.95%	4.24%
福岡県	5,124	201	227	234	234	3.92%	4.43%	4.57%	4.57%
佐賀県	806	32	36	40	40	3.97%	4.47%	4.96%	4.96%
長崎県	1,297	47	55	58	59	3.62%	4.24%	4.47%	4.55%
熊本県	1,728	68	78	81	80	3.94%	4.51%	4.69%	4.63%
大分県	1,114	39	46	49	50	3.50%	4.13%	4.40%	4.49%
宮崎県	1,061	40	47	51	48	3.77%	4.43%	4.81%	4.52%
鹿児島県	1,576	60	70	74	71	3.81%	4.44%	4.70%	4.51%
沖縄県	1,468	76	83	83	78	5.18%	5.65%	5.65%	5.31%

若年人口
対象都道府県平均

3.57% 4.11% 4.40% 4.67%

(令和2(2020)年度 総務省統計局データより作成)

年齢階層別人口
対象都道府県合計

18,210人 14.50%

【資料9】 都道府県別・出生数対比データ

	令和2(2020)年	平成22(2010)年	増減率 2010～2020
全国	840,835	1,901,440	44.22%
北海道	29,523	89,631	32.94%
青森	6,837	24,031	28.45%
岩手	6,718	22,182	30.29%
宮城	14,480	32,760	44.20%
秋田	4,499	17,499	25.71%
山形	6,217	17,226	36.09%
福島	11,215	31,287	35.85%
茨城	17,389	40,466	42.97%
栃木	11,808	29,673	39.79%
群馬	11,660	29,616	39.37%
埼玉	47,328	96,033	49.28%
千葉	40,168	77,416	51.89%
東京	99,661	186,701	53.38%
神奈川	60,865	118,656	51.30%
新潟	12,981	37,524	34.59%
富山	6,256	17,305	36.15%
石川	7,712	18,817	40.98%
福井	5,313	12,421	42.77%
山梨	5,184	11,872	43.67%
長野	12,864	31,712	40.57%
岐阜	12,092	31,538	38.34%
静岡	22,497	58,276	38.60%
愛知	55,613	111,528	49.86%
三重	11,141	25,862	43.08%
滋賀	10,437	17,629	59.20%
京都	16,440	39,921	41.18%
大阪	61,878	150,653	41.07%
兵庫	36,953	86,839	42.55%
奈良	7,831	17,983	43.55%
和歌山	5,732	16,340	35.08%
鳥取	3,783	8,755	43.21%
島根	4,473	10,939	40.89%
岡山	13,521	30,102	44.92%
広島	19,606	46,843	41.85%
山口	8,203	23,956	34.24%
徳島	4,521	12,020	37.61%
香川	6,179	15,539	39.76%
愛媛	8,102	23,315	34.75%
高知	4,082	11,773	34.67%
福岡	38,966	71,059	54.84%
佐賀	6,004	13,085	45.88%
長崎	9,182	25,639	35.81%
熊本	13,011	25,596	50.83%
大分	7,582	18,336	41.35%
宮崎	7,720	18,123	42.60%
鹿児島	11,638	24,592	47.32%
沖縄	14,943	22,371	66.80%

対象都道府県平均

46.00%

(総務省統計局データより作成)

【資料10】 大和大学 入試結果推移データ（直近5か年）

(人)

		令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	
教育学部	教育学科	入学定員	190	190	190	190	190
		実志願倍率	16.11	14.92	13.49	16.62	11.15
		志願者数	3,061 (508)	2,835 (539)	2,564 (524)	3,158 (466)	2,119 (453)
		受験者数	2,999 (494)	2,780 (530)	2,508 (516)	3,091 (344)	2,046 (432)
		合格者数	539 (42)	560 (59)	539 (54)	692 (87)	598 (66)
		入学者数	223	220	193	220	204
		定員充足率	1.17	1.15	1.01	1.15	1.07
保健医療学部	看護学科	入学定員	100	100	100	100	100
		実志願倍率	16.56	18.17	14.08	20.28	17.44
		志願者数	1,656 (22)	1,817 (38)	1,408 (40)	2,028 (39)	1,744 (52)
		受験者数	1,590 (18)	1,771 (38)	1,357 (40)	1,981 (37)	1,721 (47)
		合格者数	316 (1)	296 (3)	288 (2)	312 (5)	335 (1)
		入学者数	113	120	105	110	126
		定員充足率	1.13	1.20	1.05	1.10	1.26
	総合リハビリテーション学科	入学定員	120	120	120	120	120
		実志願倍率	5.58	7.25	5.40	7.94	7.54
		志願者数	670 (528)	870 (791)	649 (549)	953 (772)	905 (881)
		受験者数	642 (492)	846 (772)	634 (545)	909 (752)	887 (861)
		合格者数	243 (78)	139 (149)	258 (91)	261 (100)	218 (117)
		入学者数	135	139	126	122	121
		定員充足率	1.12	1.15	1.05	1.01	1.00

※上段は実人数、下段の()は併願人数

		令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	
政治経済学部	政治・政策学科	入学定員	40	40	40	40	60
		実志願倍率	9.45	8.85	6.85	13.52	5.90
		志願者数	378 (564)	354 (608)	274 (1,414)	541 (1,685)	354 (1,111)
		受験者数	376 (551)	344 (586)	271 (1,380)	531 (1,644)	342 (1,090)
		合格者数	92 (60)	88 (76)	105 (227)	185 (286)	147 (217)
		入学者数	46	43	46	41	64
		定員充足率	1.15	1.07	1.15	1.02	1.06
	経済経営学科	入学定員	80	80	80	80	120
		実志願倍率	1.20	12.15	9.77	12.67	9.21
		志願者数	960 (204)	972 (196)	782 (1268)	1,014 (1,461)	1,105 (792)
		受験者数	943 (204)	942 (188)	761 (1,246)	979 (1,434)	1,086 (777)
		合格者数	156 (10)	202 (37)	187 (153)	350 (246)	259 (94)
		入学者数	93	88	86	84	140
		定員充足率	1.16	1.10	1.07	1.05	1.16
理工学部	理工学科	入学定員	—	230	230	230	230
		実志願倍率	—	10.31	7.62	11.43	7.22
		志願者数	—	2,373 (2,218)	1,754 (1,472)	2,631 (1,565)	1,661 (2,435)
		受験者数	—	2,323 (2,165)	1,670 (1,422)	2,526 (1,516)	1,585 (2,315)
		合格者数	—	687 (586)	906 (569)	1,131 (495)	913 (756)
		入学者数	—	260	234	255	253
		定員充足率	—	1.13	1.01	1.10	1.10

※上段は実人数、下段()は併願人数

		令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	
社会学部	社会学科	入学定員	—	—	200	200	
		実志願倍率	—	—	12.65	12.58	9.14
		志願者数	—	—	2,531 (482)	2,517 (701)	1,828 (529)
		受験者数	—	—	2,483 (466)	2,468 (678)	1,794 (521)
		合格者数	—	—	561 (60)	484 (129)	463 (92)
		入学者数	—	—	217	234	216
		定員充足率	—	—	1.08	1.17	1.08
情報学部	情報学科	入学定員	—	—	—	—	200
		実志願倍率	—	—	—	—	11.20
		志願者数	—	—	—	—	2,240 (313)
		受験者数	—	—	—	—	2,110 (282)
		合格者数	—	—	—	—	787 (80)
		入学者数	—	—	—	—	256
		定員充足率	—	—	—	—	1.28

※上段は実人数、下段の()は併願人数

【資料11】 大和大学 オープンキャンパス・資料請求者数推移データ (直近5か年)

(人)

		平成30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度
OPC 参加者数	全学	2,810	3,844	コロナWeb 実施統計なし	4,779	5,501
	政治経済学部	402	453	コロナWeb 実施統計なし	470	745
資料 請求者数	全学	68,522	69,577	69,553	63,567	76,585
	政治経済学部	3,786	3,985	4,996	8,769	13,525

【資料12】 大和大学「グローバルビジネス学科（仮称）」設置に係る人材需要
の見通し調査報告書

大和大学
政治経済学部「グローバルビジネス学科（仮称）」
設置に係る人材需要の見通し調査
（設置構想についての人材需要アンケート調査）
報告書

2023（令和5）年3月
株式会社高等教育総合研究所

大和大学
政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」
設置に係る人材需要の見通し調査
(設置構想についての人材需要アンケート調査)

報告書 目次

1. 人材需要アンケート調査 実施概要	3
2. 人材需要アンケート調査 集計結果	4
3. 人材需要アンケート調査 集計結果ポイント	9
(添付資料)	11
人材需要アンケート調査用紙(紙方式)	12
「グローバルビジネス学科(仮称)」リーフレット(紙方式)	14
人材需要アンケート調査回答画面(Web方式)	16

1. 人材需要アンケート調査 実施概要

調査対象	<p>大和大学が2024(令和6)年度、政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」が養成する人材の採用が見込まれる、以下に依頼した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大和大学政治経済学部卒業生の採用実績先(196箇所) ●関西圏、首都圏を含む都市圏に拠点を持つ中規模以上(従業員規模が300人以上)の企業(762箇所) ●国際機関(54箇所) <p>以上、合計1,012箇所にアンケート調査用紙を送付した。</p>
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ●回答元の基本情報(業種、本社・主たる事業所等所在地、従業員・職員規模) ●大和大学政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」が養成する人材の社会的ニーズ、採用意向 <p>全7問で主に選択肢式(一部記述)。</p>
調査時期	2023(令和5)年2月
調査方法	<p>調査対象先の人事・採用担当者宛に依頼状・人材需要アンケート調査用紙・「グローバルビジネス学科(仮称)」リーフレット・返送用封筒を各1部送付した(依頼状にはWEB回答用サイトへのURL・QRコードを記載)。ご協力いただける場合は、紙方式・WEB方式のいずれかのみで回答いただいた。</p>
回答件数	86箇所(回収率8.5%)

2. 人材需要アンケート調査 集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 貴社、貴機関の主要種として、最もあてはまるものをお答えください。(最もあてはまるもの1つにマーク)

選択肢	回答数	構成比(%)
1 農業、林業、漁業、鉱業	0	0.0%
2 建設業	3	3.5%
3 製造業	21	24.4%
4 電気、ガス、熱供給、水道業	1	1.2%
5 通信業、放送業	1	1.2%
6 情報サービス業	15	17.4%
7 インターネット付随サービス業	0	0.0%
8 映像・音声・文字情報制作業	0	0.0%
9 運輸業	7	8.1%
10 卸売業、小売業	19	22.1%

※「製造業」の製造品目、「その他」の記載は8ページ参照。

選択肢	回答数	構成比(%)
11 金融業、保険業	6	7.0%
12 不動産業、物品賃貸業	2	2.3%
13 宿泊業、飲食サービス業	1	1.2%
14 教育、学習支援	0	0.0%
15 医療、福祉	0	0.0%
16 学術研究、専門・技術サービス業	2	2.3%
17 複合サービス業、その他サービス	3	3.5%
18 公務	2	2.3%
19 その他	2	2.3%
無回答	1	1.2%
合計	86	100.0%

問2 貴社の本社、貴機関の主たる事業所の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択肢	回答数	構成比(%)
1 北海道	0	0.0%
2 青森県	0	0.0%
3 岩手県	0	0.0%
4 宮城県	0	0.0%
5 秋田県	0	0.0%
6 山形県	0	0.0%
7 福島県	0	0.0%
8 茨城県	0	0.0%
9 栃木県	0	0.0%
10 群馬県	1	1.2%
11 埼玉県	0	0.0%
12 千葉県	0	0.0%
13 東京都	32	37.2%
14 神奈川県	1	1.2%
15 新潟県	0	0.0%
16 富山県	0	0.0%
17 石川県	0	0.0%
18 福井県	0	0.0%
19 山梨県	0	0.0%
20 長野県	0	0.0%
21 岐阜県	1	1.2%
22 静岡県	0	0.0%
23 愛知県	3	3.5%
24 三重県	3	3.5%

※「海外」の記載は8ページ参照。

選択肢	回答数	構成比(%)
25 滋賀県	3	3.5%
26 京都府	4	4.7%
27 大阪府	23	26.7%
28 兵庫県	9	10.5%
29 奈良県	2	2.3%
30 和歌山県	0	0.0%
31 鳥取県	0	0.0%
32 島根県	0	0.0%
33 岡山県	0	0.0%
34 広島県	1	1.2%
35 山口県	0	0.0%
36 香川県	0	0.0%
37 徳島県	0	0.0%
38 愛媛県	0	0.0%
39 高知県	0	0.0%
40 福岡県	0	0.0%
41 佐賀県	0	0.0%
42 長崎県	0	0.0%
43 熊本県	0	0.0%
44 大分県	0	0.0%
45 宮崎県	0	0.0%
46 鹿児島県	0	0.0%
47 沖縄県	0	0.0%
48 海外	3	3.5%
無回答	0	0.0%
合計	86	100.0%

問3 貴社の従業員数、貴機関の職員数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	～99人	1	1.2%
2	100～299人	14	16.3%
3	300～499人	23	26.7%
4	500～999人	14	16.3%
5	1,000～2,999人	22	25.6%
6	3,000～9,999人	9	10.5%
	10,000人～	3	3.5%
	無回答	0	0.0%
合計		86	100.0%

問4以降は別紙・大和大学 政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」概要を確認の上、回答を求めた。

問4 大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	ニーズは極めて高い	20	23.3%
2	ニーズはある程度高い	58	67.4%
3	ニーズはあまり高くない	6	7.0%
4	ニーズは高くない	2	2.3%
	無回答	0	0.0%
合計		86	100.0%

問5 大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	採用したい	48	55.8%
2	採用しない	2	2.3%
3	わからない	36	41.9%
	無回答	0	0.0%
合計		86	100.0%

問6 【問6は、問5で「採用したい」と回答いただいた場合にお答えください】大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」で養成する人材について、採用を検討したいと思われる人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	人数合計
1	1名	26	26
2	2名	10	20
3	3名	4	12
4	4名	1	4
5	5名	4	20
6	6名	0	0
7	7名	0	0
8	8名	0	0
9	9名	0	0
10	10名以上(「人数合計」は10名でカウント)	3	30
	無回答	0	-
合計		48	112

問7 大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

回答内容	
1	数年後に活躍できる人材(基礎の理解)を求めます。
2	当社は中小企業支援を行っている金融機関です。 海外進出支援や海外取引を行っている企業にコンサルできる人材の育成を期待します。 今後とも学部問わずお付き合いくださいますようお願い申し上げます。
3	今後注目していきたいと思います。
4	「ビジネス実践力」「情報ICT運用力」に魅力を感じます。
5	ICT、国際化、デザイン思考力の科目など、変化の激しい市場に対し有用な人材育成となるカリキュラムと思いました。採用予定については現時点でわかりませんが今後参考とさせていただきます。
6	理系、とりわけ情報系人材(プログラマではなく、SE、プロマネ等)の輩出いただきたい。ビジネススキルではなく基礎的な教養、課題解決力を持った人材の育成を期待します。
7	多様化が進む社会において、社会を広い目で見ても様々な人とコミュニケーションをとってきた学生さんほどの仕事をする上でもニーズはあると思われれます。
8	いつもお世話になっております。2024年度も採用活動を行って参りますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
9	弊社の業種が望まれている進路と微妙に違っているように思われ、採用の可否を「わからない」にしました。運送会社に興味がある学生さんは大歓迎です。
10	コンセプトは素晴らしいと思いますが、最近、グローバルビジネスを冠する学部を数多く見かけることから、いかに独自性を出すかが重要になると思います。また、卒業後に想定される進路の一つに国際機関職員が挙げられていますが、国際機関の多くが修士号を応募条件にしていることから、修士号取得(+職業経験)に繋がるようなキャリアプランを学生さんに提供できるような仕組みがあると理想的と考えます。
11	論理的に考え主体的に動いて世界を俯瞰できる力を身につけて欲しい。
12	3つの柱の中でも特に「ビジネス実践力」に興味があります。
13	世の中の課題を解決することがビジネスだと考えます。いただいた資料ではどの程度のものか分かりませんが、ビジネス実践力の中で問題解決プロセスを学べるのは社会で役にたつと感じました。

問1で「製造業」の場合の記載（②は同様の回答数）

	記載内容
1	ステンレス製品
2	セメント系建材
3	フィルム・シート
4	医薬品②
5	医療機器
6	金属製品
7	金属製品製造業
8	工業用ゴム製品
9	広告・印刷
10	産業向け保護具
11	紙・パルプ
12	自動車部品
13	食品
14	水産製品
15	船舶
16	段ボール資材、販促物等の紙製品
17	電子部品
18	無線通信機器
19	輸送用機器②

問1で「その他」の場合の記載

	記載内容
1	国際開発金融機関
2	倉庫業

問2で「海外」の場合の記載

	記載内容
1	フランス
2	英国

3. 人材需要アンケート調査 集計結果ポイント

①回答元の基本情報

Point 1 本アンケート調査に対し、東京都や大阪府を拠点とする幅広い業種、さまざまな規模の企業・公務など86箇所が回答。

大和大学が政治経済学部にて設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」の人材需要の見通しを検証するため、人材需要アンケート調査を実施し86箇所より回答を得た。

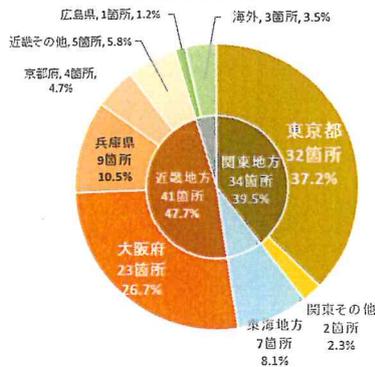
回答元の業種としては「製造業」21箇所(24.4%)が最も多く、次いで「卸売業、小売業」19箇所(22.1%)、「情報サービス業」15箇所(17.4%)であった。他にも「運輸業」7箇所(8.1%)、「金融業、保険業」6箇所(7.0%)、「建設業」「複合サービス業、その他サービス業」各3箇所(各3.5%)や「不動産業、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「公務」「その他」各2箇所(各2.3%)など「その他」19箇所(7.2%)や「公務」16箇所(6.1%)など14に及ぶ幅広い業種から回答が得られた(「その他」は1業種としてカウント/グラフ1)。本社・主たる事業所の所在地としては「東京都」32箇所(37.2%)が最も多く、関東地方全体では34箇所(39.5%)であった。2番目に多かったのが「大阪府」23箇所(26.7%)で「兵庫県」9箇所(10.5%)や「京都府」4箇所(4.7%)などを含めると近畿地方全体では41箇所(47.7%)であった。さらに東海地方7箇所(8.1%)、広島県1箇所(1.2%)の他、海外を拠点とする回答元も3箇所あった(グラフ2)。従業員・職員規模別では「300~499人」23箇所(26.7%)が最も多く、次いで「1,000~2,999人」22箇所(25.6%)、「100~299人」「500~999人」各14箇所(各16.3%)の他、「3,000~9,999人」9箇所(10.5%)、「10,000人~」3箇所(3.5%)、「~99人」1箇所(1.2%)であった(グラフ3)。

以上の通り、本アンケート調査は東京都を中心とする関東地方、大阪府を中心とする近畿地方などに拠点を置く幅広い業種のさまざまな規模の企業などから回答を得た。

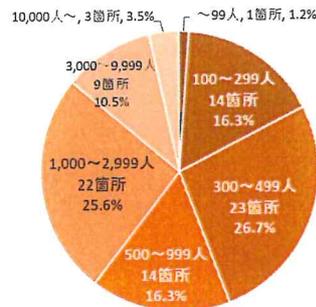
グラフ1: 回答元の業種



グラフ2: 回答元の本社・主たる事業所 (問2結果より)



グラフ3: 回答元の従業員・職員規模 (問3結果より)



②大和大学「グローバルビジネス学科(仮称)」が養成する人材について

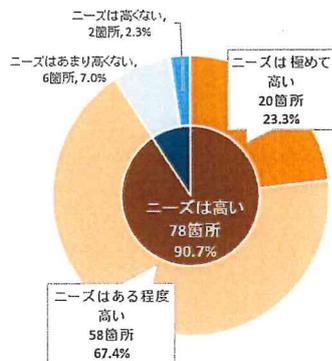
Point 2 大和大学「グローバルビジネス学科(仮称)」が養成する人材の社会的ニーズについて、9割超の78箇所(90.7%)が認める結果。

Point 3 大和大学「グローバルビジネス学科(仮称)」が養成する人材について、過半数の48箇所(55.8%)が採用意向を示し、採用可能人数は卒業見込人数80名を上回る112人。

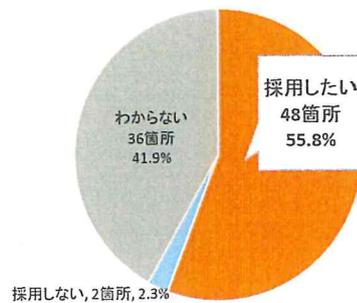
大和大学の「グローバルビジネス学科(仮称)」の概要を示した上で、養成する人材の社会的ニーズ、各回答元における採用意向について回答を求めた。

社会的ニーズについては「ニーズは極めて高い」20箇所(23.3%)、「ニーズはある程度高い」58箇所(67.4%)で、合計すると約9割超の78箇所(90.7%)が本学科の社会的ニーズは高いとの認識を示した(グラフ4)。また、採用意向については「採用したい」48箇所(55.8%)で(グラフ5)、その上で提示された採用可能人数は、卒業見込人数(入学定員)80名を上回る合計112人であった(グラフ6)。

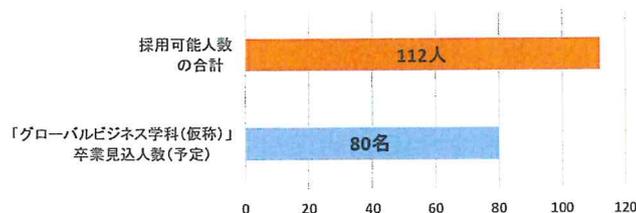
**グラフ4: 大和大学
「グローバルビジネス学科(仮称)」
社会的ニーズについて(問4結果より)**



**グラフ5: 大和大学
「グローバルビジネス学科(仮称)」
養成人材の採用意向(問5結果より)**



**グラフ6: 大和大学「グローバルビジネス学科(仮称)」
養成人材の採用可能人数(問6結果より)**



(添付資料)



大和大学 政治経済学部
「グローバルビジネス学科(仮称)」
設置構想についての人材需要アンケート調査
(対象：人事採用担当者様)

大和大学は2024(令和6)年度、政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称・入学定員80名を予定)」を設置構想中です。本学ではこのアンケート調査を通して、将来「グローバルビジネス学科(仮称)」が養成する人材の採用をご検討いただく皆様からさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実を図っていきたいと考えています。回答いただいた皆様から得られた情報は、大和大学 政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査への御協力を謹んでお願い申し上げます。
※このアンケート調査は大和大学から委託された第三者機関(株式会社高等教育総合研究所)が実施しています。

【記入例】  

問1 貴社、貴機関の主業種として、最もあてはまるものをお答えください。(最もあてはまるもの1つにマーク)

- | | | |
|--|---------------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 農業、林業、漁業、鉱業 | <input type="radio"/> 建設業 | <input type="radio"/> 製造業 製造品目: <input type="text"/> |
| <input type="radio"/> 電気、ガス、熱供給、水道業 | <input type="radio"/> 通信業、放送業 | <input type="radio"/> 情報サービス業 |
| <input type="radio"/> インターネット付随サービス業 | <input type="radio"/> 映像・音声・文字情報制作業 | <input type="radio"/> 運輸業 |
| <input type="radio"/> 卸売業、小売業 | <input type="radio"/> 金融業、保険業 | <input type="radio"/> 不動産業、物品賃貸業 |
| <input type="radio"/> 宿泊業、飲食サービス業 | <input type="radio"/> 教育、学習支援 | <input type="radio"/> 医療、福祉 |
| <input type="radio"/> 学術研究、専門・技術サービス業 | <input type="radio"/> 複合サービス業、その他サービス | <input type="radio"/> 公務 |
| <input type="radio"/> その他 <input type="text"/> | | |

問2 貴社の本社、貴機関の主たる事業所の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- | | | | | | | |
|---|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 北海道 | <input type="radio"/> 青森県 | <input type="radio"/> 岩手県 | <input type="radio"/> 宮城県 | <input type="radio"/> 秋田県 | <input type="radio"/> 山形県 | <input type="radio"/> 福島県 |
| <input type="radio"/> 茨城県 | <input type="radio"/> 栃木県 | <input type="radio"/> 群馬県 | <input type="radio"/> 埼玉県 | <input type="radio"/> 千葉県 | <input type="radio"/> 東京都 | <input type="radio"/> 神奈川県 |
| <input type="radio"/> 新潟県 | <input type="radio"/> 富山県 | <input type="radio"/> 石川県 | <input type="radio"/> 福井県 | <input type="radio"/> 山梨県 | <input type="radio"/> 長野県 | |
| <input type="radio"/> 岐阜県 | <input type="radio"/> 静岡県 | <input type="radio"/> 愛知県 | <input type="radio"/> 三重県 | | | |
| <input type="radio"/> 滋賀県 | <input type="radio"/> 京都府 | <input type="radio"/> 大阪府 | <input type="radio"/> 兵庫県 | <input type="radio"/> 奈良県 | <input type="radio"/> 和歌山県 | |
| <input type="radio"/> 鳥取県 | <input type="radio"/> 島根県 | <input type="radio"/> 岡山県 | <input type="radio"/> 広島県 | <input type="radio"/> 山口県 | | |
| <input type="radio"/> 香川県 | <input type="radio"/> 徳島県 | <input type="radio"/> 愛媛県 | <input type="radio"/> 高知県 | | | |
| <input type="radio"/> 福岡県 | <input type="radio"/> 佐賀県 | <input type="radio"/> 長崎県 | <input type="radio"/> 熊本県 | <input type="radio"/> 大分県 | <input type="radio"/> 宮崎県 | <input type="radio"/> 鹿児島県 |
| <input type="radio"/> 海外 <input type="text"/> | | | | | | <input type="radio"/> 沖縄県 |

問3 貴社の従業員数、貴機関の職員数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- ~99人 100~299人 300~499人 500~999人 1,000~2,999人 3,000~9,999人
 10,000人~



本アンケート調査用紙に印刷されているQRコードは集計時に使用するものです。個人の特定を目的とするものではありません。



問4以降は別紙 大和大学 政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」概要 をご覧いただき、お答えください。

問4 大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- ニーズは極めて高い ニーズはある程度高い ニーズはあまり高くない ニーズは高くない

問5 大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 採用したい 採用しない わからない

問6 【問6は、問5で「採用したい」と回答いただいた場合にお答えください】大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」で養成する人材について、採用を検討したいと思われる人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 1名 2名 3名 4名 5名 6名
 7名 8名 9名 10名以上

問7 大和大学が政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



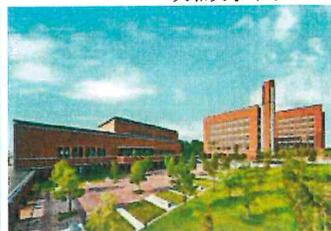
本アンケート調査用紙に印刷されているQRコードは集計時に使用するものです。個人の特定を目的とするものではありません。

以下は大和大学が2024年4月、政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)の概要」です。

大和大学 伝統より革新——超実践型グローバルビジネス学科誕生！
政治経済学部 グローバルビジネス学科 (仮称)

大和大学キャンパス

学部学科名称	政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」
学 位	学士(グローバルビジネス)
開 設 時 期	2024年(令和6年)4月(予定)
開 設 場 所	大和大学(大阪府吹田市片山町2-5-1)
修 業 年 限	4年
入 学 定 員	80名(収容定員320名)
養成する人材	社会の国際化に対応し、経営学に関する知識とともに、実践的能力、国際的視野を有する世界を舞台に活躍するグローバルビジネス人材を養成する。



✓ **教育の3つの柱 & カリキュラム特色**

3つの柱	ビジネス実践力	英語・グローバル視野	情報ICT運用力
カリキュラム特色	ビジネススキル科目 これまでの大学にはない超実践型科目を開設。人間力を徹底して磨く。 科目例 リーダーシップ開発、ビジネスプランニング、デザイン思考、問題解決プロセス、ビジネスプレゼンテーション、プロジェクトゼミⅠ・Ⅱ	外国語科目 英語力を磨く。 科目例 Basic English Ⅰ・Ⅱ、Practical English Ⅰ・Ⅱ、英会話Ⅰ・Ⅱ、Business English Ⅰ・Ⅱ	ビジネス情報科目 ビジネスに必須の情報ICT運用力を身につける。 科目例 ビジネス情報のための統計学、プログラミングⅠ・Ⅱ、データサイエンスⅠ・Ⅱ、ITビジネス、ITソリューションズ

✓ **6つの魅力**

- 1 ビジネススキル・アウトプット力を養う超実践型カリキュラム
- 2 英語力を磨き上げる独自の英語教育を展開
- 3 DX時代のビジネスに必須の情報ICT運用能力を身につける充実の学び
- 4 多彩な海外研修プログラムで、グローバル視野を育てる
- 5 起業家精神(アントレプレナーシップ)を磨く
- 6 MBA、国際資格取得等のさらなる高みを目指す特別プログラム

✓ **取得をめざす免許資格**

英語力(TOEIC)、情報ICT能力(MOS、ITパスポート等)、ファイナンシャルプランナー、証券アナリスト、国際会計検定(BATIC)、AIMR認定証券アナリスト(CFA) など

✓ **卒業後、想定される進路**

国際企業、外資企業、商社、一般企業、国家公務員、国際機関職員 など

上記内容は構想中の内容であり、変更となる場合があります。

以下は大和大学が2024年4月、政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)の概要」です。

			単位:円
初年度学費 (他大学を基準)	大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料等 初年度学費
	大和大学 政治経済学部 グローバルビジネス学科(仮称) 大阪府吹田市片山町2-5-1	200,000	1,070,000 1,270,000
	立命館大学 経営学部 国際経営学科 大阪府茨木市岩倉町2-150	200,000	1,101,000 1,301,000
	甲南大学 マネジメント創造学部 マネジメント創造学科 兵庫県西宮市高松町8-33	250,000	972,000 1,222,000

※大和大学 情報学部 (仮称)の学費は2024年度予定です。
 ※他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報で、2023年度予定です。
 ※その他、各大学ともその他の費用、諸会費が別途必要な場合があります。

アクセス

JR 大阪 駅	9分	JR 吹田 駅	徒歩 約5分	大和 大学
JR 三ノ宮 駅	29分			
JR 京都 駅	26分			
JR 草津 駅	49分			
JR 奈良 駅	59分			
阪急 大阪梅田 駅	15分	阪急 吹田 駅	徒歩 約10分	大和 大学
阪急 神戸三宮 駅	30分			
阪急 河原町 駅	38分			

大和大学キャンパス図

大志を、まとい。

大和大学

Yamato University

上記内容は構想中の内容であり 後変更となる場合があります。

大和大学 政治経済学部 「グローバルビジネス学科(仮称)」 設置構想についての人材需要アンケート調査

(対象：人事採用ご担当者様)

1ページ目 (全3ページ)

大和大学は2024(令和6)年度、政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称・入学定員80名を予定)」を設置構想中です。本学ではこのアンケート調査を通して、将来「グローバルビジネス学科(仮称)」が養成する人材の採用をご検討いただく皆様からさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実を図っていきたく考えています。回答いただいた皆様から得られた情報は、大和大学 政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査への御協力を謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は大和大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

問1 貴社・貴機関の主要種として、最もあてはまるものをお答えください。 **必須**

選択してください

問2 貴社の本社、貴機関の主たる事業所の所在地をお答えください。 **必須**

選択してください

問3 貴社の従業員数、貴機関の職員数をお答えください。 **必須**

選択してください

次へ

データサイエンス学部(仮称)リーフレット
 ※スクロールすることで全ページ閲覧が可能。一番下に「次へ」ボタン。

2ページ目 (全3ページ)

問4 以降は大和大学 政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」概要を
 ご覧いただき、お答えください。

以下は大和大学が2024年4月、政治経済学部を設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)の概要」です。



大和大学 伝統より革新——超実践型グローバルビジネス学科誕生！

政治経済学部 グローバルビジネス学科(仮称)

大和大学キャンパス

学科名称	政治経済学部「グローバルビジネス学科(仮称)」
学 科	法学(グローバルビジネス)
開 校 時 期	2024年(令和6年)4月(予定)
開 校 場 所	大和大学(茨城県取手市山崎2-1-1)
修 業 年 数	4年
入 学 学 費	旧制4年制学費320万円
出 発 する 人 材	社会の課題をこぎらふ、経営で課題を解決する力、英語力、国際的視野を有する経営者層に必要となるグローバルビジネス人材を輩出する。

✓ **教育の3つの柱 & カリキュラム特色**

	3つの柱 → ビジネス実践力	英語・ グローバル視野	情報 ICT 運用力
カリキュラム特色	ビジネススキル特長 これまでの大和にはない経営法 定科目を開設、人財力を鍛えし ておく	外国語特長 語力をとびく	ビジネス情報特長 ビジネスに必要な情報 ICT 運用 力を身につける。
	ビジネススキル特長 システムの構築、ビジネスプラン ニング、マーケティング、財務監査プログラ ム、ビジネスプレゼンテーション、ブロー クマーケティング	外国語特長 Basic English 1・2, Practical English 1・2, Business English 1・2	ビジネス情報特長 データ分析、マーケティング、ブ ロードマーケティング、デジタル コミュニケーション

✓ **6つの魅力**

- 1 ビジネススキル・アウトプット力を養う超実践型カリキュラム
- 2 英語力を磨き上げる独自の英語教育を展開
- 3 DX時代のビジネスに必要な情報ICT運用能力を身につける卒業の喜び
- 4 多彩な海外研修プログラムで、グローバル視野を育てる
- 5 起業家精神(アントレプレナーシップ)を培く
- 6 MBA、国際資格取得等のさらなる高みを目指す特別プログラム

✓ **取得をめざす免許資格**

英語力(TOEIC)、情報ICT能力(MOS、ITパスポート等)、ファイナンシャルプランナー、証券アナリスト、国際会計検定(BATIC)、AIMR認定証券アナリスト(CFA) など

✓ **卒業後、想定される進路**

国際企業、外資企業、商社、一般企業、国家公務員、国際機関職員 など

上記内容は掲載中の内容であり、今後変更となる場合があります。

問4・問5・問6

問4 大和大学が政治経済学部に設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。 **必須**

<input type="radio"/> ニーズは極めて高い	<input type="radio"/> ニーズはある程度高い
<input type="radio"/> ニーズはあまり高くない	<input type="radio"/> ニーズは高くない

問5 大和大学が政治経済学部に設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われますか。 **必須**

<input checked="" type="radio"/> 採用したい	<input type="radio"/> 採用しない
<input type="radio"/> わからない	

問6 大和大学が政治経済学部に設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」で養成する人材について、採用を検討したいと思われる人数をお答えください。 **必須**

<input type="radio"/> 1名	<input type="radio"/> 2名
<input type="radio"/> 3名	<input type="radio"/> 4名
<input type="radio"/> 5名	<input type="radio"/> 6名
<input type="radio"/> 7名	<input type="radio"/> 8名
<input type="radio"/> 9名	<input type="radio"/> 10名以上

問7 大和大学が政治経済学部に設置構想中の「グローバルビジネス学科(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。 **任意**

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。

送信

戻る

【資料13】 政治経済学部 卒業生進路実績データ

第1期生（令和2（2020）年3月卒業）

		卒業生数	就職		進学	
			人数	対卒業生	人数	対卒業生
政治行政学科 (現政治・政策学科)	男	26	25	96.2%	1	3.8%
	女	8	8	100.0%	0	0.0%
	合計	34	33	97.1%	1	2.9%
経済経営学科	男	54	53	98.1%	0	0.0%
	女	22	22	100.0%	0	0.0%
	合計	76	75	98.7%	0	0.0%
学部計	男	80	78	97.5%	1	1.3%
	女	30	30	100.0%	0	0.0%
	合計	110	108	98.2%	1	0.9%

第2期生（令和3（2021）年3月卒業）

		卒業生数	就職		進学	
			人数	対卒業生	人数	対卒業生
政治行政学科 (現政治・政策学科)	男	26	26	100.0%	0	0.0%
	女	8	7	87.5%	1	12.5%
	合計	34	33	97.1%	1	2.9%
経済経営学科	男	63	63	100.0%	0	0.0%
	女	20	18	90.0%	2	10.0%
	合計	83	81	97.6%	2	2.4%
学部計	男	89	89	100.0%	0	0.0%
	女	28	25	89.3%	3	10.7%
	合計	117	114	97.4%	3	2.6%

第3期生（令和4（2022）年3月卒業）

		卒業生数	就職		進学	
			人数	対卒業生	人数	対卒業生
政治行政学科 (現政治・政策学科)	男	28	27	96.4%	1	3.6%
	女	10	10	100.0%	0	0.0%
	合計	38	37	97.4%	1	2.6%
経済経営学科	男	65	64	98.5%	1	1.5%
	女	25	24	96.0%	1	4.0%
	合計	90	88	97.8%	2	2.2%
学部計	男	93	91	97.8%	2	2.2%
	女	35	34	97.1%	1	2.9%
	合計	128	125	97.7%	3	2.3%

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	タノセ リョウタロウ 田野瀬良太郎 <平成26年4月>		工学士		学校法人西大和学園 大和大学 学長 <平成26年4月>

審査意見への対応を記載した書類(7月)

(目次) 大和大学

- 1 既設の保健医療学部総合リハビリテーション学科において、令和4年改正後の大学設置基準10条に定める基幹教員数のうち、半数以上は原則として教授とする規定を満たしていないため、適切に改めること。
(是正事項) … 1

(是正事項) 大和大学

1. 既設の保健医療学部総合リハビリテーション学科において、令和4年改正後の大学設置基準10条に定める基幹教員数のうち、半数以上は原則として教授とする規定を満たしていないため、適切に改めること。

(対応)

ご指摘いただきました点について、誤記をいたしており、以下の通り修正します。

(新旧対照表) 基本計画書(2ページ)

新							
総合リハビリテーション学科	8 (8)	4 (4)	4 (4)	1 (1)	17 (17)	0 (0)	7 (7)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	4 (4)	4 (4)	1 (1)	17 (17)	/	/
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計(a～b)	8 (8)	4 (4)	4 (4)	1 (1)	17 (17)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a, b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計(a～d)	8 (8)	4 (4)	4 (4)	1 (1)	17 (17)		

旧							
保健医療学部総合リハビリテーション学科	7 (7)	3 (3)	6 (6)	1 (1)	17 (17)	0 (0)	7 (7)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	3 (3)	6 (6)	1 (1)	17 (17)	/	/
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計(a～b)	7 (7)	3 (3)	6 (6)	1 (1)	17 (17)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a, b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計(a～d)	7 (7)	3 (3)	6 (6)	1 (1)	17 (17)		